AXIS 1610
for Canon CAPT Printers
ユーザーズマニュアル

2003 年 7 月発行　第 2 版

R2.2

安全のために

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ず守ってください。これらの事項が守られていない場合、感電、けが、火災、故障などの原因になります。

表示の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 !	データの消失やお使いの機器への損害を避けるために注意して読む必要があります。
重要 :	操作上の損害を避けるために注意して読む必要があります。
警告	この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、データや通信の消失、物的損害の発生する可能性があります。

異常時の処理について

警告	万一、内部に水などが入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
	万一、内部に異物が入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
	万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。すぐに電源アダプタ本体をコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
	万一、本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
	電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

取り扱いについて

警告	本装置に水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。
	本装置の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。
	すきま等から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	弊社の指示がない限り、本装置を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
注意	移動させる場合は、電源アダプタをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災、感電、故障の原因となります。

電源について

警告	表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	電源アダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源アダプタ（プラグ）の刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。
	ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
	タコ足配線はしないでください。火災、過熱の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コートが破損し、火災、感電の原因となります。
	近くに雷が発生したときは、電源アダプタや接続ケーブルなどを抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災、感電、故障の原因となります。
注意	電源アダプタを抜くときは、必ず電源アダプタ本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災、感電の原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被膜が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

設置場所について

⚠ 注意	直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
	調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	近くに雷が発生したときは、電源アダプタや接続ケーブルなどを抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災、感電、故障の原因となります。

お手入れについて

⚠ 注意	アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。
	静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。故障の原因となります。
	年に一度は電源コードを抜き、プラグおよびコンセントに付着しているゴミ、ホコリなどを取り除いてください。

電波に関する適合性 – 日本

AXIS 1610 は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電波に関する適合性 – 米国

This equipment generates and radiates radio frequency energy and if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause interference to radio communications. It has been tested and found to comply with the limits for a Class A computing device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC rules, which are designed to provide reasonable protection against such interference when operated in a commercial environment. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause interference in which case the user at his own expense will be required to take whatever measures may be required to correct the interference. Shielded cables should be used with this unit to ensure compliance with the Class A limits.

電波に関する適合性 – 欧州

CE

This digital equipment fulfils the requirements for radiated emission according to limit B of EN55022/1994, and the requirements for immunity according to EN50082-1/1992 residential, commercial, and light industry (Compliance is not valid for unshielded network and printer cables).

責任

アクシスコミュニケーションズ株式会社（以下、Axis）は、このマニュアルの技術的、印刷場の誤りについて、一切の責任を負いません。また Axis は、予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して変更、修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。Axis は、Axis 製品およびソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。Axis は、このマニュアルに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的また黙示的な保証を一切いたしません。

その他の商標

DOS、Ethernet、Internet Explorer、Microsoft、Netscape、Windows、その他、本マニュアルに記載のプログラム、パソコン、規格などの商品名、製品名は、一般的に各社の商標、または、登録商標です。

AXIS 1610 for Canon CAPT Printers ユーザーズマニュアル　第 2 版
Copyright © アクシスコミュニケーションズ株式会社、1999-2003
2003 年 7 月

前書き

AXIS 1610 for Canon CAPT printers ネットワークプリントサーバ（以下、AXIS 1610）をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品は、お使いの Canon CAPT プリンタをネットワーク中の好きなところに接続して、すべてのネットワークユーザがその共有プリンタ資源にアクセスすることができるようにします。

本マニュアルについて

本マニュアルは、AXIS 1610 のセットアップ・管理方法に関する入門的な情報や詳細な説明を提供します。本マニュアルは、AXIS 1610 のインストールや管理に関係するユーザを対象としたものです。本マニュアルを十分に役立てるには、基本的なネットワークの原理をよく知っている必要があります。

本マニュアルは、製品ソフトウェア（ファームウェア）リリース 5.80 以降が搭載された AXIS 1610 に対して適用するものとします。

Axis について

Axis Communications は、ネットワークに接続されたコンピュータ周辺機器に対する革新的なソリューションを提供します。1984 年の創立以来、市場においても最も急速に成長している企業の一つであり、この分野におけるリーダー的存在です。

ThinServer™ テクノロジ

ThinServer テクノロジにより、Axis 製品はファイルサーバに依存しない、インテリジェントな ThinServer デバイスとして動作します。ThinServer デバイスは、マルチプロトコル通信、スケーラブルな RISC ハードウェア、標準的な Web ブラウザを利用した簡単なアクセスおよび管理を可能にする、内蔵 Web サーバ機能を備えた「スリム」なサーバソフトウェアを含むネットワークサーバです。ThinServer テクノロジは、様々な電子デバイスをネットワークに接続することを可能にし、「あらゆるものへのアクセス」を提供します。

Mobile Access by Axis

AXIS 9010 は、Axis が提供する高速なワイヤレス接続が可能なエリア、「ホットスポット」を作成するネットワークアクセスソリューションの一つです。ホットスポットは、Bluetooth テクノロジを備えたモバイルデバイスのためのローカルネットワーク、およびインターネットへの無線による通信リンクを提供します。Bluetooth ワイヤレステクノロジは業界から支援されているテクノロジの一つであり、ポータブル機器間の近距離無線データ通信に対応するための、低コストな手段を提供します。Axis は、ネットワークへアクセスするデバイスからより大きく、より進んだシステムへと拡大する、これから必要とされる接続エリアを満たすための、新しいモバイルネットワークとサービスを提供します。

ネットワークプリントサーバ

ネットワーク上でプリンタを共有する、強力かつ経済性に優れた手段を提供します。標準的なプリンタと接続し、高性能かつ簡単な管理、さらにネットワーク経由でのアップグレードなどの機能を特徴としています。ネットワークプリントサーバには、イーサネット版、ファーストイーサネット版があります。

ネットワーク CD-ROM サーバ

ネットワーク上で CD-ROM を共有するための、柔軟でコストパフォーマンスの高いソリューションを提供します。CD-ROM サーバには、イーサネット版、ファーストイーサネット版があります。

ネットワークカメラサーバ

標準的なインターネット技術を利用し、お使いの Web ブラウザからカメラサーバにアクセスしてライブ画像を楽しむことを可能にします。インターネットを利用したリモート監視を行うためのソリューションを提供するとともに、そのシャープな画像は Web サイトに活気をもたらします。カメラサーバは、イーサネットおよびファーストイーサネット、公衆電話回線に対応しています。

ネットワークドキュメントサーバ

ネットワークを利用し、紙をベースとした情報を簡単に配布することを可能にします。読み込んだドキュメントをインターネット / イントラネット経由で送信することにより、ファックスおよび郵便のコスト削減や作業時間の短縮など、組織の作業効率の向上に役立ちます。

サポートサービス

インターネットがご利用になれる場合は、技術サポート情報、更新された製品ソフトウェア（ファームウェア）、ユーティリティソフトウェア、会社情報など、Axis のホームページでご覧いただけます。

WWW:	http://www.axiscom.co.jp/

その他

このマニュアルの制作には細心の注意を払っておりますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、info@axiscom.co.jp までご連絡ください。

目次

第 1 章　はじめに 11
使用環境 12
利用方法 13
機能と利点 14

第 2 章　製品概要 15
パッケージの内容 15
AXIS 1610 物理コネクタの説明 16

第 3 章　基本インストール 19
プリンタをネットワークに接続する 19
IP アドレスを割り当てる 20
AXIS CAPT Print Monitor を利用して AXIS CAPT Port を
インストールする 28
TCP/IP を利用するプリンタをインストールする 30
NetBIOS/NetBEUI を利用するプリンタをインストールする 41
AXIS NetPilot を利用した基本セットアップ 47

第 4 章　設定と管理 49
Web ブラウザを利用する 50
NetSpot を使用する 53
AXIS NetPilot を利用する 55
FTP を利用する 62
SNMP を利用する 65
工場出荷時のデフォルト設定に戻す 67

第 5 章　ソフトウェアをアップグレードする 69

付録 A　パラメータリスト 73

付録 B　技術仕様 75

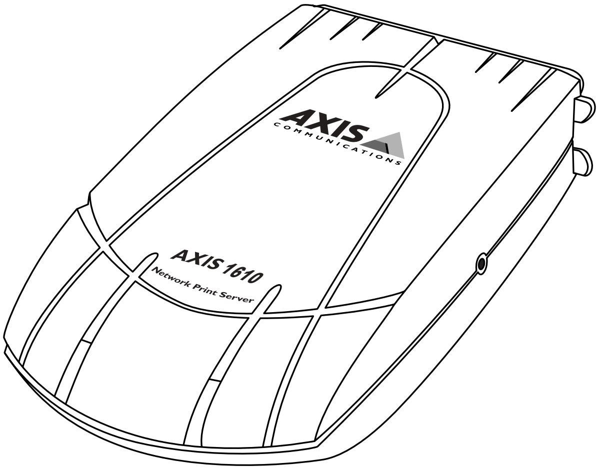
付録 C　用語集 77

付録 D　保証について 81

索引 83

第 1 章　はじめに

AXIS ThinServer テクノロジを基に、AXIS 1610 for Canon CAPT printers は、利用可能な Canon CAPT プリンタ資源をネットワーク上の誰もが共有できるようにします。AXIS 1610 は、Canon CAPT プリンタに直接接続することができます。



AXIS 1610 ネットワークプリントサーバ

サポートするプリンタ

AXIS 1610 は、Canon CAPT プリンタとのみ接続するように開発されました。

使用環境

サポートする環境

AXIS 1610 は、以下のオペレーティングシステムが動作するクライアントから、TCP/IP または NetBIOS/NetBEUI プロトコルを利用した印刷をサポートします。

- Windows 95
- Windows 98
- Windows NT 4.0
- Windows 2000
- Windows Me
- Windows XP（TCP/IP のみ対応）

AXIS 1610 の設定と管理は、標準的な Web ブラウザから AXIS 1610 の内部 Web ページにアクセスして行うことができます。

利用方法

インストールと統合

AXIS 1610 のインストールとネットワークへの統合は、適切なクライアントソフトウェアを利用して行われます。

- AXIS CAPT Print Monitor
- AXIS NetPilot
- Canon NetSpot

AXIS CAPT Print Monitor および AXIS NetPilot は、AXIS Online CD に収録されています。また、Axis のホームページからダウンロードしてご利用頂くことができます。

設定と管理

AXIS 1610 の設定と管理は、TCP/IP、NetBIOS/NetBEUI、IPX プロトコルを利用して行うことができます。その方法を以下のリストに示します。なお、AXIS NetPilot は、Windows 95、98、Me 上で動作します。

- 標準的な Web ブラウザ（TCP/IP）
- Canon NetSpot（TCP/IP）
- AXIS NetPilot（NetBIOS/NetBEUI、IPX）

印刷プロトコル

- NetBIOS/NetBEUI（Windows XP を除く）
- TCP/IP

機能と利点

信頼性

AXIS 1610 は、高い性能と信頼性を提供し、また、電力消費が低いという特徴を持っています。その電子回路は、32 ビット RISC プロセッサを統合し、関連するネットワークコントローラを内蔵する AXIS ETRAX 100 チップを基にしています。

速度

AXIS ETRAX 100 チップは LAN 製品向けに特別に設計され、PC とプリンタを直接接続したときよりも高いスループットを提供します。AXIS 1610 のスループットは、100BASE-TX で 800 K バイト / 秒以上、10BASE-T で 600K バイト / 秒以上と高速です。ECP 高速セントロニクス通信をサポートします。

簡単なインストール

AXIS NetPilot、AXIS CAPT Print Monitor、Canon NetSpot を利用して AXIS 1610 を数分でインストールすることができます。

セキュリティ

権限のないユーザが AXIS 1610 を設定するのを制限するパスワードを設定することができます。

監視

付属の AXIS NetPilot ソフトウェアと AXIS 1610 の内部 Web ページにより、プリンタのステータスを連続的に監視することができます。

さらに、AXIS 1610 は、リモート監視のために SNMP をサポートします。

将来への対応

AXIS 1610 のフラッシュメモリをネットワーク経由でアップグレードすることができます。これにより、プリントサーバの新しい製品ソフトウェア（ファームウェア）がリリースされた際、それを素早く更新し、お使いの AXIS 1610 の操作性の特徴を向上させることができます。更新されたソフトウェアは、Axis のホームページで無償で配布されます。

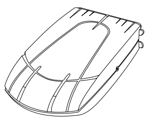
ポケットサイズ

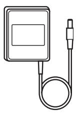
AXIS 1610 は、Canon CAPT プリンタのパラレルポートに直接接続する高速パラレルポートコネクタを一つ装備しています。

第 2 章　製品概要

パッケージの内容

下のチェックリストを利用してプリントサーバのパッケージを確認してください。欠けているものや壊れているものがあった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。





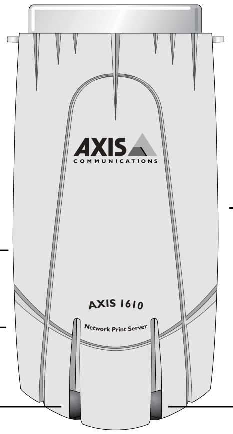
- ❑ AXIS 1610 for Canon CAPT Printers
- ❑ AXIS Online CD
- ❑ お客様登録カード
- ❑ 外部電源アダプタ（PS-B）/ 部品番号 : 13936

AXIS Online CD

AXIS Online CD は、AXIS ユーティリティソフトウェア、PDF 形式のドキュメントを提供します。

注意 : PDF 形式のドキュメントを見るための Adobe® Acrobat® Reader™ は、AXIS Online CD でも提供されます。

AXIS 1610 物理コネクタの説明



AXIS 1610 の外観図

ネットワークコネクタ

AXIS 1610 は、10Mbps イーサネットと 100Mbps ファーストイーサネットネットワークのために設計されており、ツイストペアカテゴリ 5 ケーブル（10BASE-T と 100BASE-TX）を利用してネットワークに接続します。AXIS 1610 は、ローカルネットワークセグメントの速度（10Mbps または 100Mbps）を自動的に検知する機能を持ちます。

プリンタポート

AXIS 1610 では、高速 IEEE 1284 互換パラレルポート一つが提供されています。このポートに Canon CAPT プリンタを直接接続することができます。

テストボタン

テストボタンは、AXIS 1610 のパラメータを工場出荷時のデフォルト設定にリセットするために利用します。テストボタンに関する詳細は、67 ページ「工場出荷時のデフォルト設定に戻す」を参照してください。

ネットワークインディケータ

ネットワークインディケータは、ネットワークのトラフィックを示すために点滅します。

電源インディケータ

電源インディケータは、電源が供給されている間、点灯します。点灯しない場合、また、点滅する場合は、AXIS 1610 かその電源アダプタに問題があります。

第 3 章 基本インストール

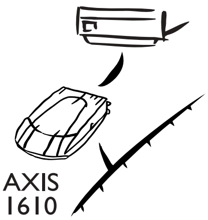
プリンタをネットワークに接続する

下の手順にしたがい、AXIS 1610 を利用してプリンタをネットワークに接続します。

警告！

❑ 利用している電源アダプタが正しい電源電圧表示をしているか確認してください。AXIS 1610 専用の電源アダプタは、PS-B です。

1. プリンタの電源を切り、AXIS 1610 から外部電源アダプタを取り外します。



2. AXIS 1610 の底面のラベルにあるシリアル番号を確認し、書き留めます。ネットワークの設定の間に、この番号が必要になります。
3. プリンタのパラレルプリンタポートに直接 AXIS 1610 を接続します。
4. カテゴリ 5 のツイストペアケーブルを利用して、AXIS 1610 をネットワークに接続します。
5. プリンタの電源を入れ、AXIS 1610 に外部電源アダプタを接続します。電源インディケータが点灯するはずです。ネットワークインディケータが点滅し始めれば、AXIS 1610 は正しくネットワークに接続されたことになります。

TCP/IP ネットワークとの通信を確立し、AXIS 1610 の内部 Web ページにアクセスするには、AXIS 1610 に有効な IP アドレスを割り当てる必要があります。

ネットワーク上で DHCP サーバが動作している場合、AXIS 1610 は自動的に IP アドレスを取得します。DHCP サーバを利用できない場合は、21 ページ「IP アドレスを 設定する方法」を参考に、適切な方法を利用して AXIS 1610 に IP アドレスを割り当ててください。

IP アドレスを割り当てる

TCP/IP ネットワークとの通信を確立し、Web ブラウザや Canon NetSpot を利用した管理を可能にするために、お使いの AXIS 1610 に IP アドレスを割り当てる必要があります。

始める前に

システム権限 IP アドレスを設定するには、UNIX システム上では root の権限、Windows NT Server では Administrator の権限が必要になります。また、Windows XP ではコンピュータ管理者の権限が必要になります。

イーサネットアドレス インストールを行うには、お使いの AXIS 1610 のイーサネットアドレスを知っている必要があります。イーサネットアドレスは、お使いの AXIS 1610 のシリアル番号を基にしています。たとえば、00408C100086 というシリアル番号を持つ AXIS 1610 は、対応するイーサネットアドレス 00 40 8C 10 00 86 を持つことになります。シリアル番号は、製品の底面のラベル上に記載されています。

IP アドレス ARP を利用して IP アドレスを設定する場合は、ネットワーク管理者から未使用の IP アドレスを入手する必要があります。

重要 :

- ❑ お使いの AXIS 1610 をインストールする際、以下の例で使用されている IP アドレスを利用しないでください。お使いの AXIS 1610 に IP アドレスを割り当てる前に、必ず、ネットワーク管理者に相談してください。

IP アドレスを設定する方法

お使いのネットワーク環境により、以下のいずれかの方法を利用して IP アドレスを設定することができます。

方法	ネットワーク環境	参照
DHCP	Windows NT、2000、XP、UNIX、	22 ページ
ARP	Windows 95、98、NT、2000、Me、XP	23 ページ
	UNIX	25 ページ
RARP	UNIX	26 ページ
BOOTP	UNIX	27 ページ
手作業	Windows 95、98、Me、NT（NetSpot のみ）	47 ページ「AXIS NetPilot を利用した基本セットアップ」 53 ページ「NetSpot を使用する」

注意 :

- ❑ ARP の方法と RARP の方法は、単一のネットワークセグメント上でのみ動作します。つまり、ルータを越えて利用することはできません。

ホスト名を IP アドレスに関連付ける

ホスト名を利用する場合は、入手した IP アドレスに唯一のホスト名を関連付ける必要があります。お使いのシステム上で名前の関連付けを行う方法に関しては、お使いのシステムのマニュアルを参照したり、システム管理者に相談してください。

AXIS 1610 は、Windows NT ネットワークで DHCP を利用する際に推奨される WINS（Windows Internet Name Service）をサポートしています。

注意 :

- ❑ ホスト名を IP アドレスに関連付けなくても、IP アドレスを設定する以下の方法を実行することができます。この場合、ホスト名が必要とされるところを単純に IP アドレスで置き換えます。

DHCP を利用する

お使いのネットワーク上で DHCP サーバが動作している場合、AXIS 1610 はネットワークに接続されるとすぐに IP アドレスを受け取ります。

1. DHCP マネージャでスコープを編集するか、または、作成します。このスコープに含まれるエントリには、以下のようなパラメータが含まれます。
   - IP アドレスの範囲
   - サブネットマスク
   - デフォルトゲートウェイの IP アドレス
   - WINS サーバの IP アドレス
   - リース期間
2. スコープをアクティブにします。

注意 :

- ❑ WINS を利用している場合は、DHCP スコープに WINS サーバの IP アドレスを少なくとも一つ含める必要があります。AXIS 1610 は、IP アドレスを受け取るとすぐに、WINS サーバ上、ホスト名と IP アドレスを登録します。
- ❑ AXIS 1610 は、TFTP サーバからカスタマイズされた config ファイル（AXIS 1610 の設定ファイル）を自動的に読み込むことができます。単純に、DHCP スコープに、config ファイルの名前と TFTP サーバの IP アドレスを追加します。AXIS 1610 は、IP アドレスを受け取るとすぐに、config ファイルを読み込みます。
- ❑ AXIS 1610 への IP アドレス割り当てに DHCP サーバを利用する場合は、AXIS 1610 へ割り当てる IP アドレスは常に同じ IP アドレスになるようにしてください。なお、DHCP サーバから取得したアドレスは、NVRAM に保存され、次回の起動時まで保持されます。もし、次回の起動時に DHCP サーバから応答がなかった場合は、前回取得した IP アドレスで起動します。

Windows 95、98、NT、2000、Me、XP で ARP を利用する

19 ページ「プリンタをネットワークに接続する」の作業が終了したら、ARP を利用して IP アドレスを設定します。

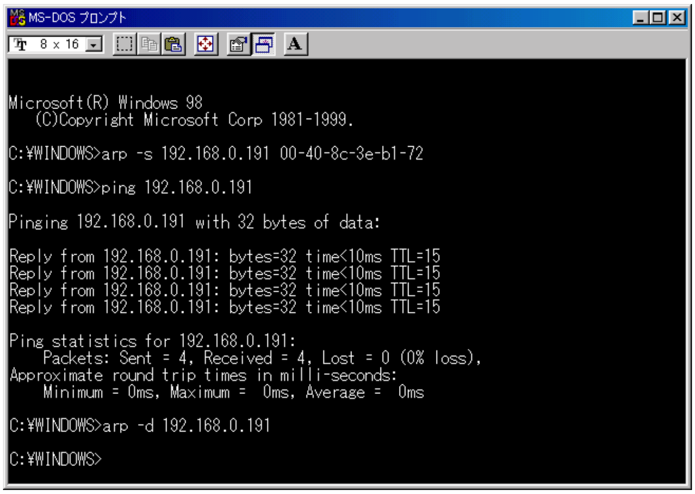
1. DOS 窓（MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト）を開きます。以下のコマンドを実行します。

```
arp -s <IP アドレス> <イーサネットアドレス>
ping <IP アドレス>
arp -d <IP アドレス>
```

例：

```
arp -s 192.168.0.191 00-40-8c-10-00-86
ping 192.168.0.191
arp -d 192.168.0.191
```

Windows 95、98、NT、2000、Me、XP は、`Reply from 192.168.0.191 ...` のようなメッセージを返すはずです。これにより、アドレスが設定され、通信が確立したことが分かります。



ARP コマンドを利用した IP アドレスの設定例（Windows 98 の場合）

2. AXIS 1610 のデフォルトゲートウェイ、サブネットマスクは工場出荷状態で両方とも 0.0.0.0 に設定されています。手順 1. の設定が完了した時点でローカルネットワークから AXIS 1610 に対する TCP/IP 通信が可能になり、また、自動ルータ検知機能によりネットワークパケットがルータを越えてやって来たものであるかどうかを AXIS 1610 が自動的に検出することが可能となります。この機能は、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクが両方とも 0.0.0.0 に設定されている場合に動作します。ただし、ご利用のネットワーク環境よってはこの機能が適切に動作しない場合があります。そのような場合には、49 ページ「第 4 章 設定と管理」を参照し、デフォルトゲートウェイ、およびサブネットマスクに適切な値に設定するようにしてください。

注意 :

- ❑ Windows 95 の ARP を利用する際は、最初のコマンド行を次のように変更します。

  `arp -s <IPアドレス> <イーサネットアドレス> <95のIP アドレス>`

  ここで、`<95 の IP アドレス >` は、お使いの Windows 95 の IP アドレスです。
- ❑ 初めて `ping` コマンドを実行する際は、反応があるまでに通常よりも長く時間がかかるかもしれません。
- ❑ `ping` で応答がない場合は、AXIS 1610 の電源を入れ直し、再度 `ping` を行ってください。
- ❑ `arp -d` コマンドを利用することにより、Windows 95、98、NT、2000、Me、XP のキャッシュメモリから ARP テーブルの static エントリが削除されます。
- ❑ `arp -a` コマンドを利用することにより、ARP テーブルのエントリを表示することができます。

UNIX で ARP を利用する

下の手順にしたがい、ARP を利用して IP アドレスを設定します。

1. 以下のコマンドを実行します。

```
arp -s <ホスト名> <イーサネットアドレス> temp
ping <ホスト名>
```

例：

```
arp -s npsname 00:40:8c:10:00:86 temp
ping npsname
```

UNIX は、`npsname is alive` のようなメッセージを返すはずです。これにより、アドレスが設定され、通信が確立したことが分かります。

2. AXIS 1610 のデフォルトゲートウェイ、サブネットマスクは工場出荷状態で両方とも 0.0.0.0 に設定されています。手順 1. の設定が完了した時点でローカルネットワークから AXIS 1610 に対する TCP/IP 通信が可能になり、また、自動ルータ検知機能によりネットワークパケットがルータを越えてやって来たものであるかどうかを AXIS 1610 が自動的に検出することが可能となります。この機能は、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクが両方とも 0.0.0.0 に設定されている場合に動作します。ただし、ご利用のネットワーク環境よってはこの機能が適切に動作しない場合があります。そのような場合には、49 ページ「第 4 章 設定と管理」を参照し、デフォルトゲートウェイ、およびサブネットマスクに適切な値に設定するようにしてください。

注意 :

- ❑ ARP コマンドの書式は、UNIX システムによって異なる場合があります。ある種の BSD 系システムは、ホスト名とイーサネットアドレスの順番が逆である必要があります。また、IBM AIX システムは、追加の引数 ether を必要とします。たとえば、

```
arp -s ether <ホスト名> 00:40:8c:10:00:86 temp
```

- ❑ 初めて `ping` コマンドを実行する場合は、反応があるまでに通常よりも長く時間がかかるかもしれません。

UNIX で RARP を利用する

下の手順にしたがい、RARP を利用して IP アドレスを設定します。

1. お使いのシステムのイーサネットアドレステーブル（通常 /etc/ethers ファイル）に以下の行を追加します。

```
< イーサネットアドレス > < ホスト名 >
```

例 :

```
00:40:8c:10:00:86 npsname
```

2. 必要なら、お使いのシステムのホストテーブルやネーミングサービスのデータベースを更新します。
3. まだ動作していなければ、RARP デーモンを起動します。これは、一般的に `rarpd -a` コマンドを利用して実行します。
4. AXIS 1610 を再起動し、IP アドレスを設定します。

注意 :

- ❑ IBM AIX をお使いの場合は、おそらく、RARP デーモンが用意されていません。その場合は、代わりに ARP、BOOTP のいずれかの方法を利用してください。

UNIX で BOOTP を利用する

下の手順にしたがい、BOOTP を利用して IP アドレスを設定します。

1. お使いのシステムのブートテーブル（通常、/etc/bootptab ファイル）に以下のエントリを追加します。

```
< ホスト名 >:ht=< ハードウェアタイプ >:vm=< ベンダマジック >:\
:ha=< ハードウェアアドレス >:ip=<IP アドレス >:\
:sm=< サブネットマスク >:gw=< ゲートウェイフィールド >
```

   例：

```
npsname:ht=ether:vm=rfc1048:\
:ha=00408c100086:ip=192.168.0.191:\
:sm=255.255.255.0:gw=192.168.0.1
```

注意：

- ❑ ht フィールドと vm フィールドは、例で示されているように正確に入力してください。
- ❑ ha フィールドは AXIS 1610 のイーサネットアドレス、ip フィールドはその IP アドレスです。
- ❑ sm フィールドと gw フィールドは、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイに対応します。

2. 必要なら、お使いのシステムのホストテーブルやネーミングサービスのデータベースを更新します。
3. まだ動作していなければ、BOOTP デーモンを起動します。これは、一般的に、`bootpd` コマンドを利用して実行します。
4. AXIS 1610 を再起動し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。

AXIS 1610 は、TFTP サーバからカスタマイズされた config ファイル（AXIS 1610 の設定ファイル）を自動的に読み込むことができます。単純に、ブートテーブルに、config ファイルの名前と TFTP サーバの IP アドレスを追加します。AXIS 1610 は、IP アドレスを受け取るとすぐに、config ファイルを読み込みます。

AXIS CAPT Print Monitor を利用して AXIS CAPT Port をインストールする

AXIS CAPT Print Monitor とは

AXIS CAPT Print Monitor は、ネットワーク印刷を行うために開発されたWindows コンポーネントです。AXIS CAPT Print Monitor により、ローカルプリンタポートと同じくらい簡単に AXIS 1610 を接続することができるようになります。また、AXIS CAPT Print Monitor は、一度インストールされると、システムの起動時に自動的に立ち上がるようになります。

印刷環境

AXIS CAPT Print Monitor は、TCP/IP および NetBIOS/NetBEUI 上の印刷をサポートします。この環境で印刷できるようにするため、お使いのクライアント PC 上で TCP/IP または NetBIOS/NetBEUI プロトコルが動作していることを確認してください。

- AXIS 1610 の内部 Web ページにアクセスして、TCP/IP 印刷または NetBIOS/NetBEUI 印刷を無効にすることができます。［**設定**］ボタンをクリックし、［**TCP/IP**］または［**NetBIOS/NetBEUI**］リンクをクリックします。［**オフ**］をクリックしてプロトコルを無効にします。デフォルトの設定では、両方とも［**オン**］に設定されています。

ピアツーピア印刷を行うには、それぞれの PC 上に AXIS CAPT Print Monitor をインストールする必要があります。一度 AXIS CAPT Print Monitor をインストールすると、これにより、お使いの PC に直接接続されているかのようにすべてのネットワークプリンタにアクセスすることができるようになります。

AXIS CAPT Print Monitor を利用する

AXIS CAPT Print Monitor を利用したプリンタのインストール、および管理方法については、お使いのネットワークに適した手順を参照してください。

TCP/IP 印刷

- 30 ページ「Windows 95、98、Me で AXIS CAPT Print Monitor を利用する」
- 36 ページ「Windows NT、2000、XP で AXIS Print Monitor を利用する」

注意 :

❑ TCP/IP 印刷を行うには、ファームウェアバージョン 5.80 以降、AXIS CAPT Print Monitor v1.10 以降が必要です。

NetBIOS/NetBEUI 印刷

- 41 ページ「Windows 95、98、Me で AXIS CAPT Print Monitor を利用する」
- 43 ページ「Windows NT、2000 で AXIS CAPT Print Monitor を利用する」

TCP/IP を利用するプリンタをインストールする

Windows 95、98、Me で AXIS CAPT Print Monitor を利用する

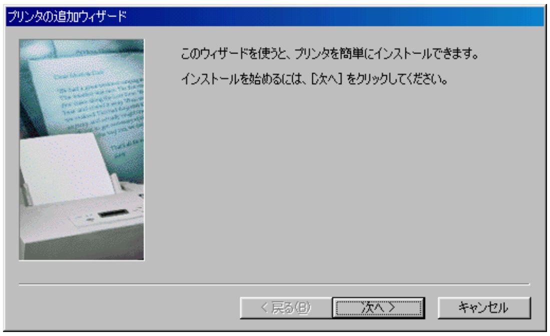
下の手順にしたがい、Windows 95、98、Me に TCP/IP Port を利用するプリンタをインストールします。

注意 :

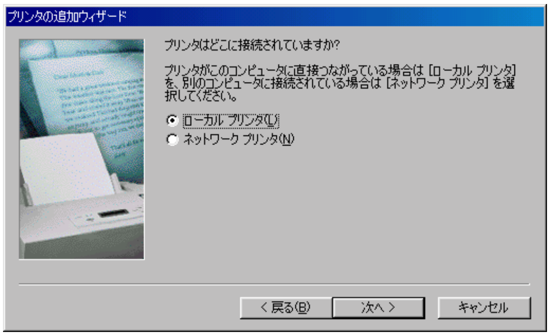
- TCP/IP 印刷を行うには、ファームウェアバージョン 5.80 以降、AXIS CAPT Print Monitor v1.10 以降が必要です。

ローカルプリンタポート

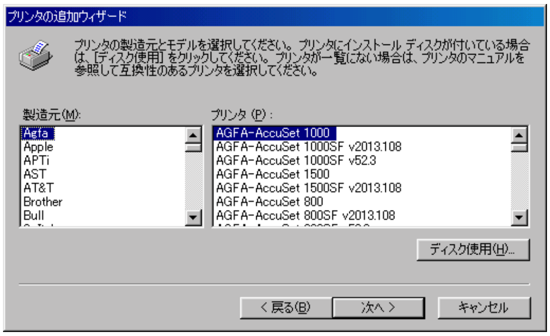
1. AXIS CAPT Print Monitor をインストールしていない場合は、AXIS Online CD 上、¥software¥capt_pm¥setup.exe を実行してインストールを行ってください（インストールの詳細が知りたい場合は、付属の「補足資料」を参照してください）。
2. プリンタの追加ウィザードを起動するため、［スタート］メニューから［設定］-［プリンタ］を選択し、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。



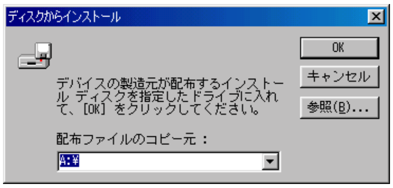
3. ［次へ］をクリックした後、ローカルプリンタかネットワークプリンタのどちらかを選択するよう尋ねられます。AXIS 1610 は、ローカルプリンタポートとして振る舞うため、［**ローカルプリンタ**］を選択します。［**次へ**］をクリックします。



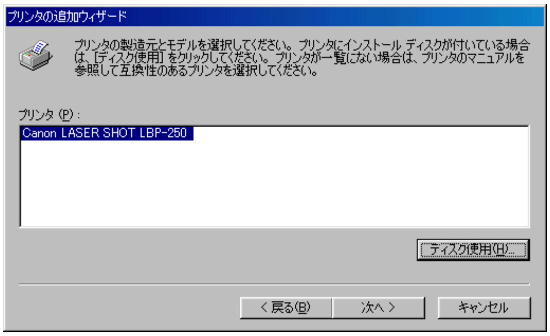
4. お使いのプリンタに適したプリンタドライバを選択します。
注意：［製造元］と［プリンタ］の一覧に利用したいプリンタドライバが表示された場合は、利用するプリンタドライバをクリックして反転表示させます。［**次へ**］をクリックし、手順 7. へ進んでください。



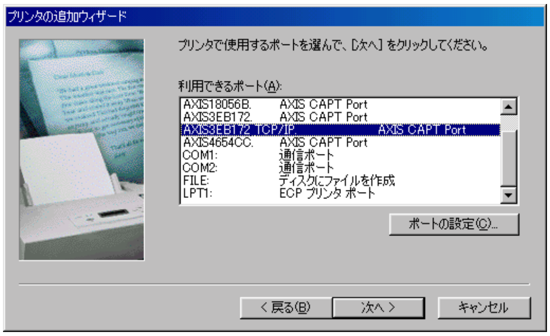
5. 利用したいプリンタドライバが一覧に表示されない場合は、［**ディスク使用**］ボタンをクリックします。プリンタに付属のプリンタドライバ CD を挿入し、適切なドライブを選択して［OK］をクリックします。



6. インストールしたいプリンタドライバを選択します。[次へ] をクリックします。



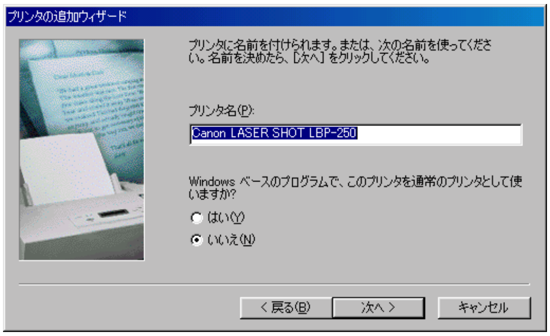
7. 使用する AXIS TCP/IP CAPT Port を選択し、［次へ］をクリックします。



注意 : ポート名は、< 名前 >_TCP/IP. のように見えてきます。ここで < 名前 > は、AXIS に AXIS 1610 のシリアル番号の下 6 桁を続けたもので、たとえば、AXIS560B35_TCP/IP. のようになります。

注意 : リモート TCP/IP Port をインストールする場合（リストに TCP/IP Port が表示されない場合など）は、LPT1 ポートを選択し、次の「リモートプリンタポート」の手順にしたがってください。

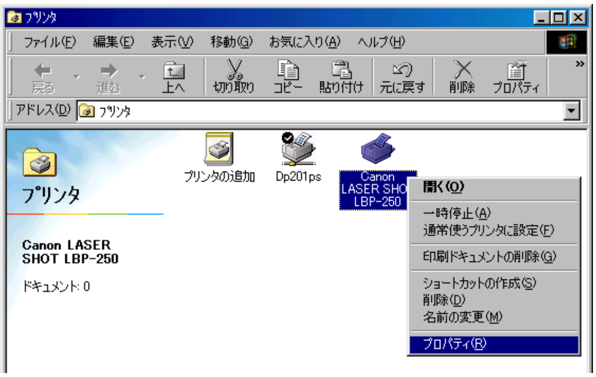
8. お使いのプリンタに対する適切な名前を入力します。[次へ] をクリックします。



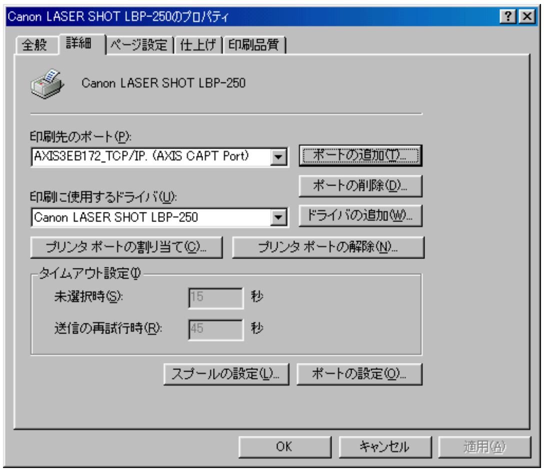
9. テストページを印刷するかどうかを選択し、[完了] をクリックします。

リモートプリンタポート

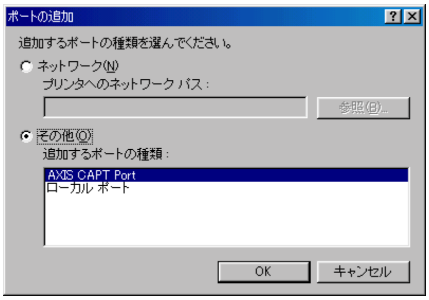
1. 上の「ローカルプリンタポート」の手順にしたがって作成されたプリンタが、[プリンタ] フォルダに表示されます。作成したプリンタオブジェクトを右クリックし、ショートカットメニューから [プロパティ] を選択します。



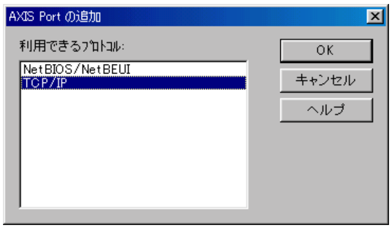
2. ［詳細］タブを選択し、［ポートの追加］をクリックしてポートの追加画面を開きます。



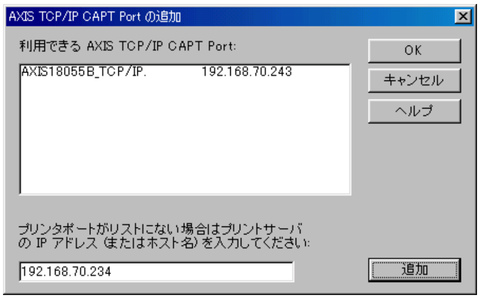
3. ［その他］をクリックします。［AXIS CAPT Port］を選択し、［OK］をクリックします。



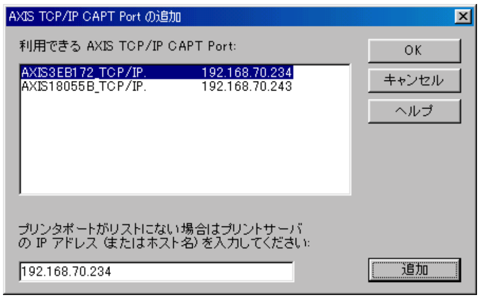
4. 印刷に利用するプロトコルとして TCP/IP を選択し、［OK］をクリックします。



5. お使いの AXIS 1610 の IP アドレス / ホスト名を入力し、［追加］をクリックします。



6. ポートがリストに追加され、反転表示されます。［OK］をクリックしてプリンタポートダイアログに戻り、［閉じる］をクリックます。



注意： ❑ AXIS CAPT Port を設定する

異なるサブネット上にある AXIS 1610 の IP アドレスまたはホスト名を変更した場合、［AXIS CAPT Port の設定］ダイアログで新しい IP アドレスまたはホスト名を入力してください。

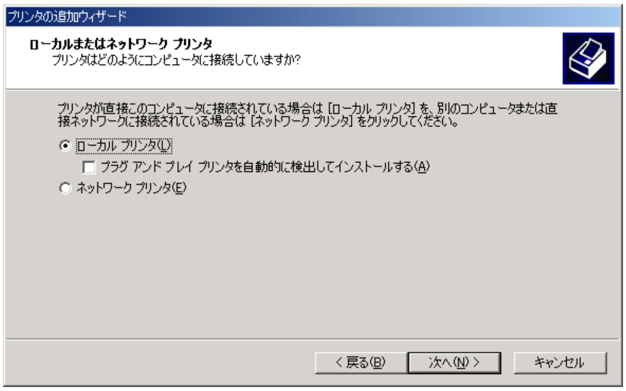
［AXIS CAPT Port の設定］ダイアログは、AXIS 1610 の変更前の IP アドレスまたはホスト名を表示します。新しい IP アドレスまたはホスト名を入力し、［OK］をクリックしてください。

Windows NT、2000、XP で AXIS Print Monitor を利用する

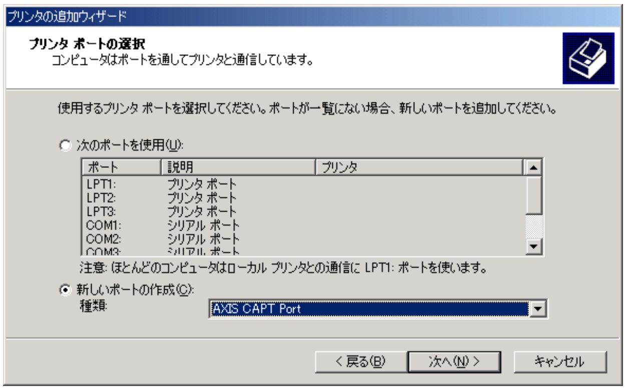
下の手順にしたがい、Windows NT、2000、XP に TCP/IP Port を利用するプリンタをインストールします。

注意 : ❑ TCP/IP 印刷を行うには、ファームウェアバージョン 5.80 以降、AXIS CAPT Print Monitor v1.10 以降が必要です。

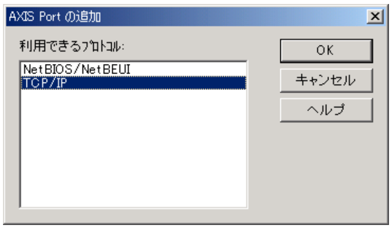
1. AXIS CAPT Print Monitor をインストールしていない場合は、AXIS Online CD 上、¥software¥capt_pm¥setup.exe を実行してインストールを行ってください（インストールの詳細が知りたい場合は、付属の「補足資料」を参照してください）。
2. プリンタの追加ウィザードを起動するため、［**スタート**］メニューから［**設定**］-［**プリンタ**］を選択し、［**プリンタの追加**］アイコンをダブルクリックします。Windows XP の場合は、［**スタート**］メニューから［**プリンタと FAX**］を選択し、［**プリンタのインストール**］をクリックします。
3. ［**このコンピュータ / ローカルプリンタ**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。



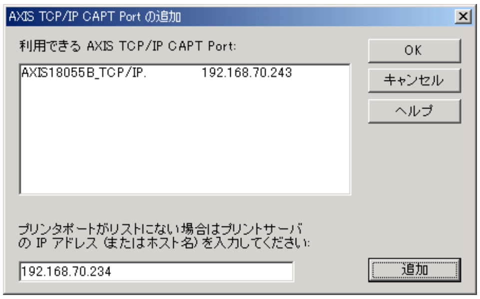
4. 使用する TCP/IP Port が［利用可能なポート］リストに表示された場合は、使用する TCP/IP Port を選択して［次へ］をクリックし、手順 7. へ進んでください。リストに表示されない場合は、［ポートの追加 / 新しいポートの作成］をクリックします。ドロップダウンリストから［AXIS CAPT Port］を選択し、［次へ］をクリックします。



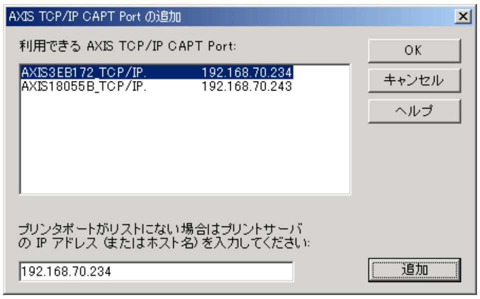
5. 印刷に利用するプロトコルとして TCP/IP を選択し、［OK］をクリックします。



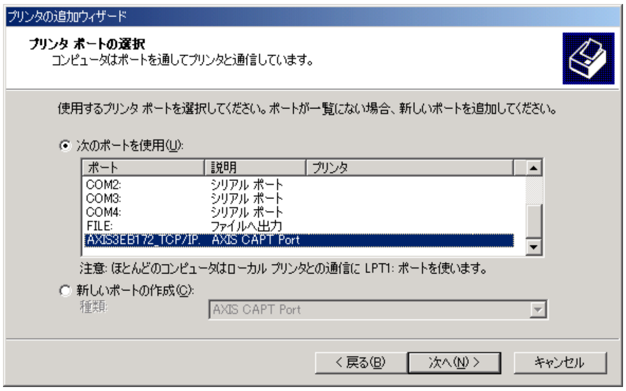
6. ［AXIS TCP/IP CAPT Port の追加］ダイアログで AXIS 1610 の IP アドレスまたはホスト名を入力し、［追加］をクリックします。



7. ポートがリストに追加され、反転表示されます。[OK] をクリックしてウィザードに戻ります。



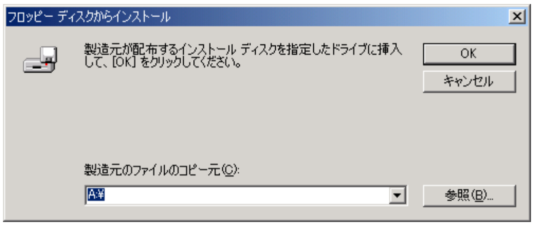
8. 使用する AXIS TCP/IP CAPT Port を選択し、[次へ] をクリックします。



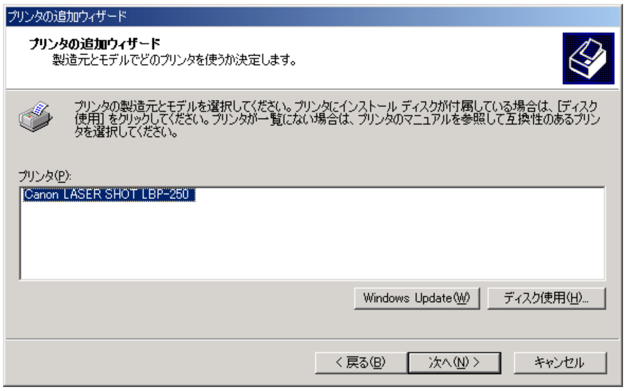
注意 : ポート名は、< 名前 >_TCP/IP. のように見えてきます。ここで < 名前 > は、AXIS に AXIS 1610 のシリアル番号の下 6 桁を続けたもので、たとえば、AXIS560B35_TCP/IP. のようになります。

9. お使いのプリンタに適したプリンタドライバを選択します。
注意 : [製造元] と [プリンタ] の一覧に利用したいプリンタドライバが表示された場合は、利用するプリンタドライバをクリックして反転表示させます。[次へ] をクリックし、手順 12. へ進んでください。

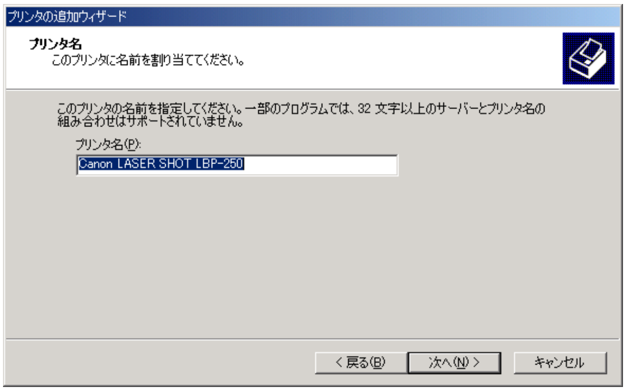
10. 利用したいプリンタドライバが一覧に表示されない場合は、［ディスク使用］ボタンをクリックします。プリンタに付属のプリンタドライバ CD を挿入し、適切なドライブを選択して［OK］をクリックします。



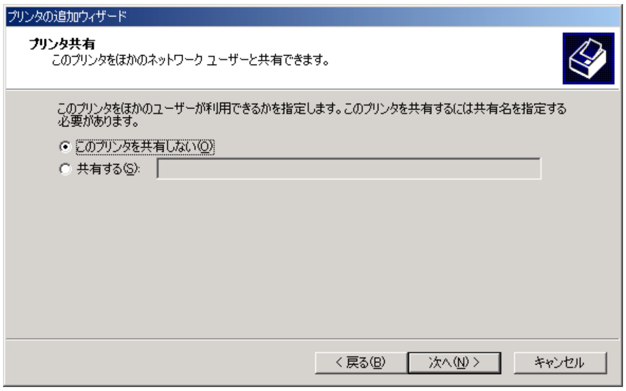
11. インストールしたいプリンタドライバを選択します。［次へ］をクリックします。



12. お使いのプリンタに対する適切な名前を入力します。［次へ］をクリックします。

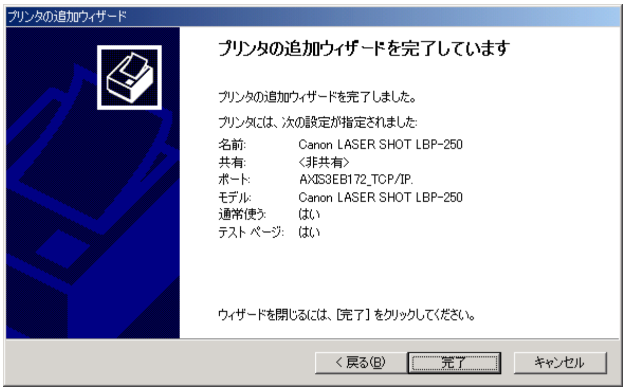


13. プリンタをネットワーク上の他のユーザと共有するかどうか選択し、[次へ] をクリックします。



14. テストページを印刷するかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。

15. [完了] をクリックします。



注意 :

- ❑ AXIS CAPT Port を設定する
  異なるサブネット上にある AXIS 1610 の IP アドレスまたはホスト名を変更した場合、[AXIS CAPT Port の設定] ダイアログで新しい IP アドレスまたはホスト名を入力してください。

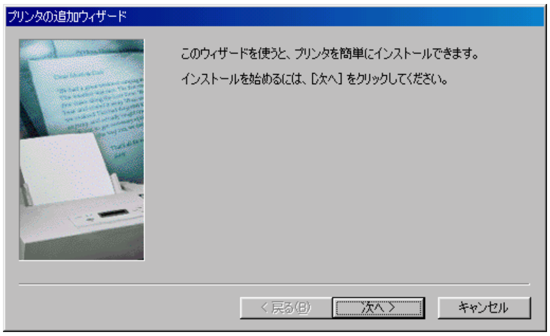
  [AXIS CAPT Port の設定] ダイアログは、AXIS 1610 の変更前の IP アドレスまたはホスト名を表示します。新しい IP アドレスまたはホスト名を入力し、[OK] をクリックしてください。

NetBIOS/NetBEUI を利用するプリンタをインストールする

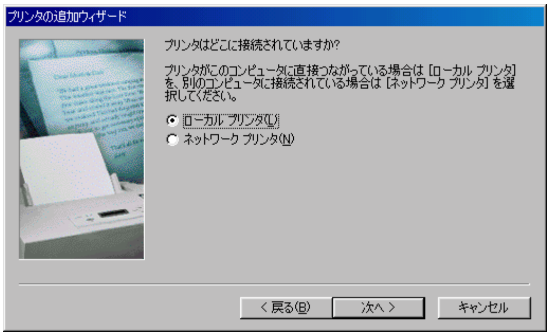
Windows 95、98、Me で AXIS CAPT Print Monitor を利用する

下の手順にしたがい、Windows 95、98、Me に NetBIOS/NetBEUI Port を利用するプリンタをインストールします。

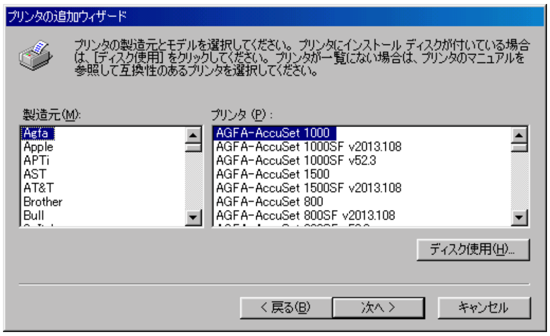
1. AXIS CAPT Print Monitor をインストールしていない場合は、AXIS Online CD 上、¥software¥capt_pm¥setup.exe を実行してインストールを行ってください（インストールの詳細が知りたい場合は、付属の「補足資料」を参照してください）。
2. プリンタの追加ウィザードを起動するため、［スタート］メニューから［設定］-［プリンタ］を選択し、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。



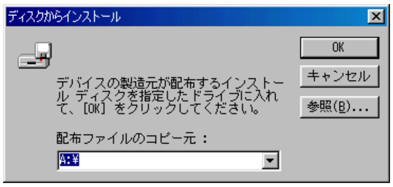
3. ［次へ］をクリックした後、ローカルプリンタかネットワークプリンタのどちらかを選択するよう尋ねられます。AXIS 1610 は、ローカルプリンタポートとして振る舞うため、［ローカルプリンタ］を選択します。［次へ］をクリックします。



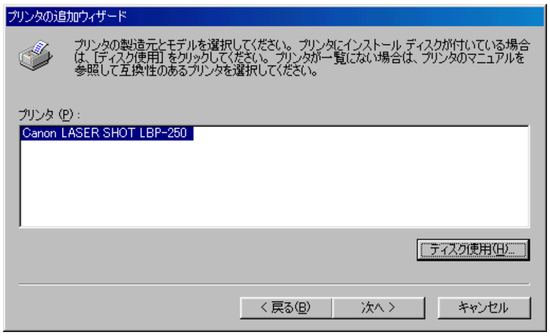
4. お使いのプリンタに適したプリンタドライバを選択します。
注意 :［製造元］と［プリンタ］の一覧に利用したいプリンタドライバが表示された場合は、利用するプリンタドライバをクリックして反転表示させます。［**次へ**］をクリックし、手順 8. へ進んでください。



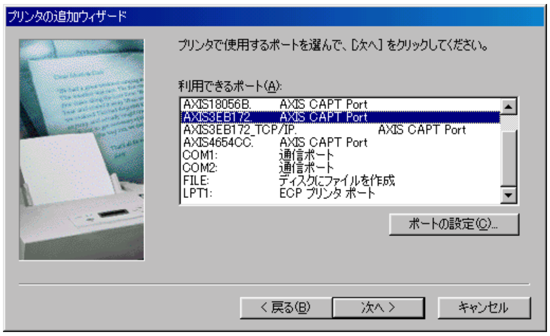
5. 利用したいプリンタドライバが一覧に表示されない場合は、［**ディスク使用**］ボタンをクリックします。プリンタに付属のプリンタドライバ CD を挿入し、適切なドライブを選択して［**OK**］をクリックします。



6. インストールしたいプリンタドライバを選択します。［**次へ**］をクリックします。

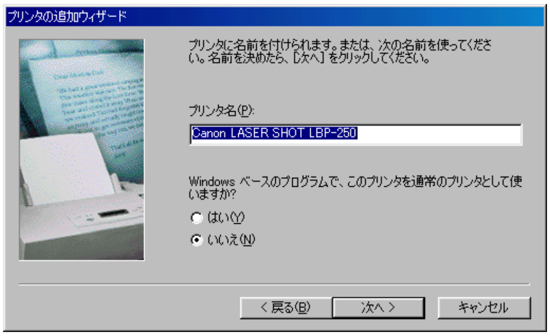


7. ［利用できるポート］から使用する AXIS CAPT Port を選択し、［**次へ**］をクリックします。



注意：ポート名は、デフォルトで AXIS に AXIS 1610 のシリアル番号の下 6 桁を続けたものになります。
たとえば、AXIS100086. のようになります。

8. お使いのプリンタに対する適切な名前を入力します。［**次へ**］をクリックします。



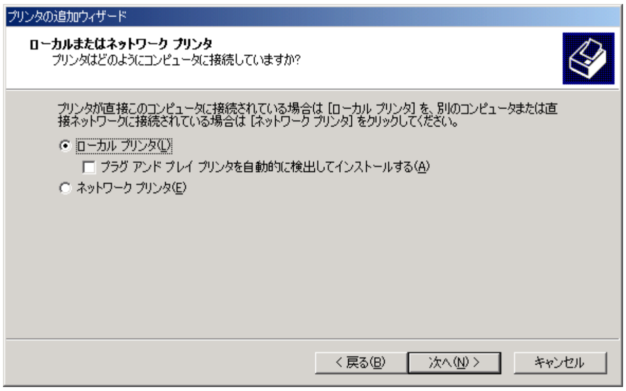
9. テストページを印刷するかどうかを選択し、［**完了**］をクリックします。

Windows NT、2000 で AXIS CAPT Print Monitor を利用する

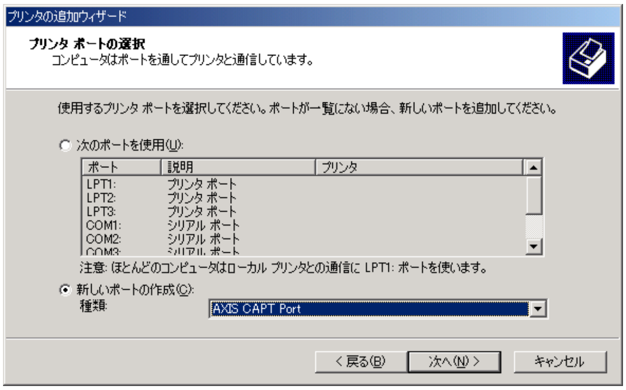
下の手順にしたがい、Windows NT、2000 に NetBIOS/NetBEUI Port を利用するプリンタをインストールします。

1. AXIS CAPT Print Monitor をインストールしていない場合は、AXIS Online CD 上、¥software¥capt_pm¥setup.exe を実行してインストールを行ってください（インストールの詳細が知りたい場合は、付属の「補足資料」を参照してください）。

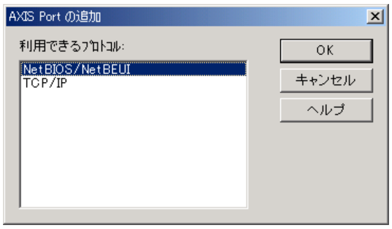
2. プリンタの追加ウィザードを起動するため、[**スタート**] メニューから [**設定**] - [**プリンタ**] を選択し、[**プリンタの追加**] アイコンをダブルクリックします。
3. [**このコンピュータ / ローカルプリンタ**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。



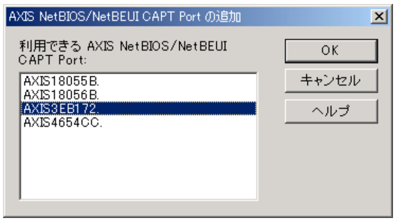
4. 使用する AXIS CAPT Port が [利用可能なポート] リストに表示された場合は、使用する AXIS CAPT Port を選択して [次へ] をクリックし、手順 8. へ進んでください。リストに表示されない場合は、[**ポートの追加 / 新しいポートの作成**] をクリックします。ドロップダウンリストから [**AXIS CAPT Port**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。



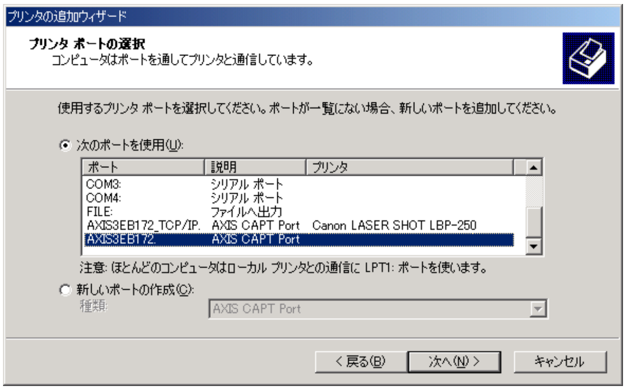
5. 印刷に利用するプロトコルとして NetBIOS/NetBEUI を選択し、［OK］をクリックします。



6. 使用する AXIS CAPT Port を選択し、［OK］をクリックします。
注意：ポート名は、< 名前 >. のように見えてきます。ここで < 名前 > は、AXIS に AXIS 1610 のシリアル番号の下 6 桁を続けたもので、たとえば、AXIS100086. のようになります。



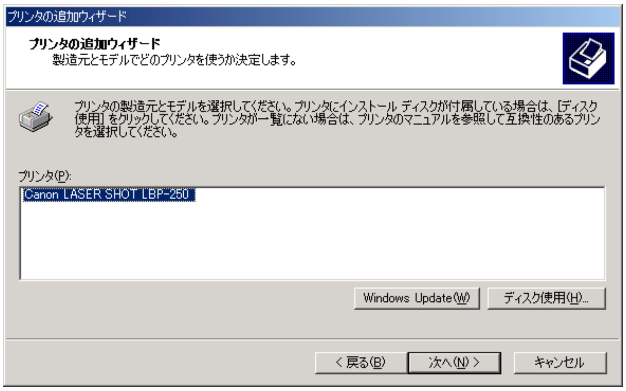
7. ウィザードに戻り、［利用可能なポート］リストから使用する AXIS CAPT Port を選択し、［次へ］をクリックします。



8. お使いのプリンタに適したプリンタドライバを選択します。
注意：［製造元］と［プリンタ］の一覧に利用したいプリンタドライバが表示された場合は、利用するプリンタドライバをクリックして反転表示させます。［次へ］をクリックし、手順 12. へ進んでください。

9. 利用したいプリンタドライバが一覧に表示されない場合は、［ディスク使用］ボタンをクリックします。プリンタに付属のプリンタドライバ CD を挿入し、適切なドライブを選択して［OK］をクリックします。

10. インストールしたいプリンタドライバを選択します。［次へ］をクリックします。



11. お使いのプリンタに対する適切な名前を入力します。［次へ］をクリックします。

12. プリンタをネットワーク上の他のユーザと共有するかどうか選択し、［次へ］をクリックします。

13. テストページを印刷するかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

14. ［完了］をクリックします。

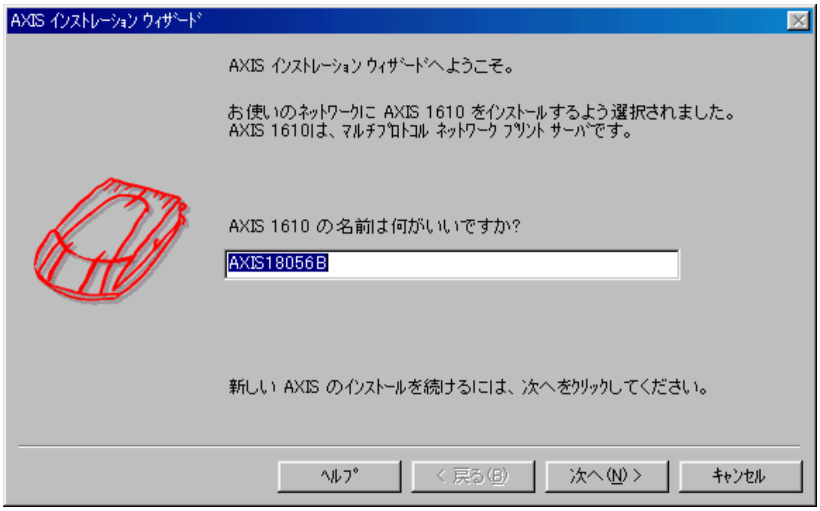
AXIS NetPilot を利用した基本セットアップ

AXIS Online CD 上の ¥software¥capt_pm¥setup.exe を実行し、お使いの PC に AXIS NetPilot ソフトウェアをインストールします（インストールの詳細が知りたい場合は、付属の「補足資料」を参照してください）。AXIS NetPilot は、Windows 95、98、Me 上で動作します。

インストールを始める

下の指示にしたがい、AXIS NetPilot を利用して AXIS 1610 をインストールします。

1. ［スタート］メニューから、［プログラム］-［Axis Communications（インストールディレクトリとして指定した名前）］-［NetPilot］-［AXIS NetPilot］を選択し、AXIS NetPilot 起動します。
2. ［未設定 AXIS プリントサーバ］フォルダの中で目的の AXIS 1610 を見つけます。その AXIS 1610 を選択し、AXIS NetPilot のツールバーの［**インストール**］ボタンをクリックします。お使いのネットワークが大きい場合は、プリントサーバがフォルダに現れるまでに数秒かかるかもしれません。
3. ［インストレーションウィザードを使ってインストールする］オプションを選び、［OK］をクリックします。以下のウィンドウが現れます。



AXIS NetPilot のインストレーションウィザードのメインウィンドウ

AXIS NetPilot のインストレーションウィザードは、インストールの手順をガイドします。以下のオプションが用意されています。

プリンタポート名 デフォルトのプリンタポート名は、AXIS に AXIS 1610 のシリアル番号の下 6 桁を続けた文字列から成ります。たとえば、AXIS100086 です。デフォルトのプリンタポート名を変更したい場合は、名前を指定するところで新しい名前を入力してください。プリンタポート名の最大長は 15 文字です。15 文字を超える文字列は切り捨てられます。

IP アドレス お使いの AXIS 1610 に IP アドレスを割り当てるかどうかを決めます。AXIS 1610 が IP アドレスを取得するために使用する方法を指定する必要があります。DHCP、ARP、RARP、BOOTP がサポートされます。また、手作業で IP アドレスを設定することもできます。IP アドレスの設定に関する詳細は、20 ページ「IP アドレスを割り当てる」を参照してください。

管理者用パスワードを設定する インストレーションウィザードの最後で、権限のないユーザが AXIS 1610 のパラメータを変更するのを防ぐパスワードを設定することができます。

注意 :

- インストールの間に入力したパラメータは、恒久的なものではありません。お使いのネットワークにおける印刷の必要に応じ、いつでも変更することができます。
- インストールの間に間違いをしても、重大な、また、恒久的な損害が起きることはありません。印刷に満足いかない場合は、必要に応じてシステムを調整するためにパラメータをいつでも簡単に変更することができます。

第 4 章　設定と管理

AXIS 1610 がサポートする設定・管理ツールは、以下のことを可能にします。

- AXIS 1610 のパラメータを変更する、つまり、*config* ファイルを編集する
- プリントジョブに関する拡張情報を入手する
- プリンタポートのステータスを入手する
- お使いのプリンタを監視する
- AXIS 1610 を再起動する
- AXIS 1610 のファームウェアをアップグレードする（詳しくは、69 ページ「ソフトウェアをアップグレードする」を参照）

設定の概要

お使いの AXIS 1610 を設定・管理するために利用する方法は、お使いのネットワークプロトコルに依存します。下の表に、サポートされるネットワークプロトコルに対して利用する方法を示します。

ネットワークプロトコル	設定・管理の方法
TCP/IP	• Web ブラウザ - 50 ページ • Netspot - 53 ページ • FTP - 62 ページ • SNMP - 65 ページ
NetBIOS/NetBEUI	• AXIS NetPilot - 55 ページ
IPX	• AXIS NetPilot - 55 ページ

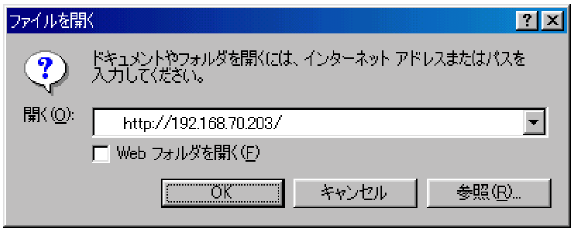
Web ブラウザを利用する

20 ページ「IP アドレスを割り当てる」で説明されている手順にしたがって AXIS 1610 に IP アドレスを設定すれば、標準的な Web ブラウザから AXIS 1610 の内部 Web ページにアクセスできるようになります。

Web ページをアクセスする

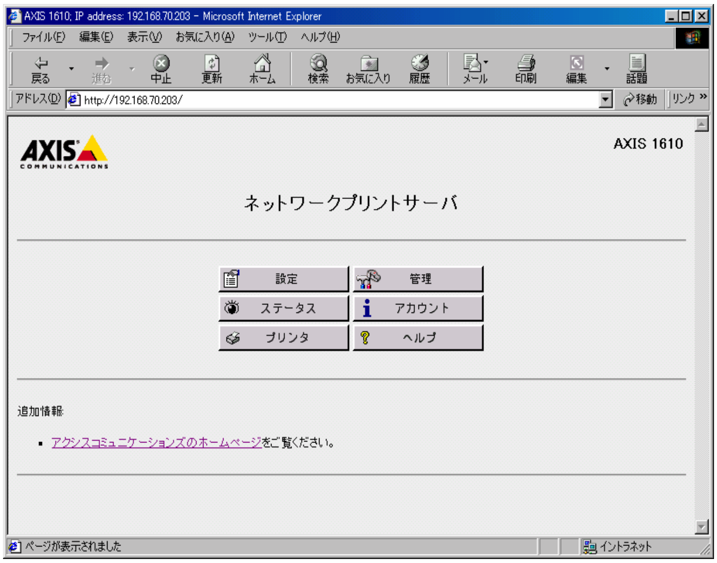
下の手順にしたがい、AXIS 1610 の内部ホームページにアクセスします。以下の例で利用するブラウザは、Internet Explorer 5.0 です。

1. Web ブラウザを起動します。
2. ［ファイル］メニューから、［**ページを開く ...**］を選択します。
3. 下のように、場所を指定して開くで AXIS 1610 のホスト名か IP アドレスを入力します。



あるいは、Web ブラウザの場所フィールドに直接ホスト名か IP アドレスを入力することもできます。

お使いのブラウザに、AXIS 1610 の内部ホームページが現れます。



AXIS 1610 のホームページ

Web インタフェースサービス

以下のサービスへのリンクが、AXIS 1610 の内部ホームページから利用できます。

- 設定
- 管理
- ステータス
- アカウント
- プリンタ
- ヘルプ
- Axis のホームページ

概要

設定ページからは、以下のことを行うことができます。

- **設定パラメータ（プリンタトサーバ名、root のパスワードを含む）を変更する。完全なパラメータリストは、73 ページ「パラメータリスト」にあります。**
- **利用可能なネットワークプロトコルを有効・無効にしたり、適切な設定ページからネットワークプロトコルの動作を変更する。**

注意 : ❑ デフォルトのユーザ名（root）とパスワード（pass）を利用していない場合は、［設定］や［管理］ボタンをクリックした時に、ユーザ名とパスワードを入力するよう尋ねられます。

警告 ! ❑ ネットワークの設定を行う際は、ネットワーク管理者に相談するようにしてください。

管理ページからは、プリントサーバを再起動したり、パラメータを工場出荷時のデフォルト値に設定することができます（IP アドレス、DHCP を除く）。また、お使いの AXIS 1610 の基本的な情報、たとえば、シリアル番号、ハードウェアアドレス、現在の製品ソフトウェア（ファームウェア）のバージョン、有効なネットワークプロトコル等を見ることもできます。

ステータスページからは、接続されたプリンタのポートのステータス、たとえば、個々のプリントジョブの印刷されたバイト数等を見ることができます。

アカウントページは、ユーザ、プロトコル、ポート、プリントジョブのステータス、ファイルの大きさ、経過時間、オフライン時間を含む、プリントジョブの記録を管理・表示します。

プリンタページは、プリンタのモデル、プリンタの言語等を含む、AXIS 1610 に接続されたプリンタの現在のステータスや管理情報を表示します。どのような情報が表示されるかは、プリンタのモデルに依存します。

ヘルプページは、AXIS 1610 の内部 Web ページ経由で実行することができる設定・管理作業の短い説明を含んでいます。

NetSpot を使用する

NetSpot は、さまざまなネットワークデバイスをコンピュータ上で管理するためのユーティリティソフトウェアです。NetSpot を使用すると、プリンタの状態を調べることや、AXIS 1610 の設定などを行うことができます。

注意 : NetSpot は、プリンタに同梱されている CD-ROM の中に収録されています。

NetSpot のインストール方法

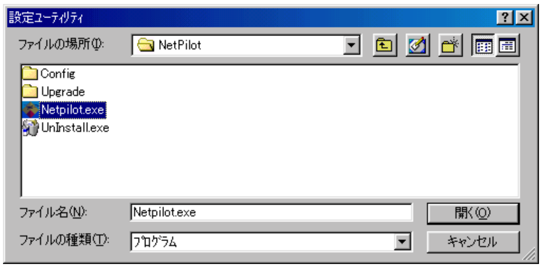
NetSpot を使用するときに必要なシステム環境、NetSpot のインストール方法、使用方法などは、「NetSpot 操作ガイド」を参照してください。「NetSpot 操作ガイド」は、Adobe Acrobat Reader を使用して画面に表示することや印刷することができるオンライン形式の説明書で、プリンタに同梱されている CD-ROM の中に収録されています。

NetSpot から AXIS 1610 の状態表示・各種設定を行う

NetSpot から AXIS 1610 の状態表示・各種設定を行うときは、お使いのコンピュータと AXIS 1610 が TCP/IP プロトコル(および SNMP)で通信できる必要があります。NetSpot を使用するときは、最初に 20 ページ「IP アドレスを割り当てる」を参照して TCP/IP プロトコルの設定を行ってください。また、以下の方法で NetSpot から NetPilot を起動して設定することもできます。

1. NetSpot を起動します。
2. [デバイス] - [新規追加 ...] メニューを選択します。
3. [追加 ...] ボタンをクリックします。
4. [ネットワークインタフェースボード名] に [AXIS 1610] と入力し、[参照 ...] ボタンをクリックします。

5. ファイルを選択する画面が表示されますので、NetPilot をインストールしたディレクトリの［NetPilot.exe］を選択して［開く］ボタンをクリックします。（NetPilot のインストールディレクトリは、通常 C:¥Program Files¥AXIS Communications¥NetPilot になります）。



6. ［OK］ボタンをクリックします。
7. ［ネットワークインタフェースボード :］で［AXIS 1610］を選択して［設定］ボタンをクリックします。
8. NetPilot が起動します。47 ページ「AXIS NetPilot を利用した基本セットアップ」を参照して TCP/IP プロトコルの設定を行ってください。

AXIS NetPilot を利用する

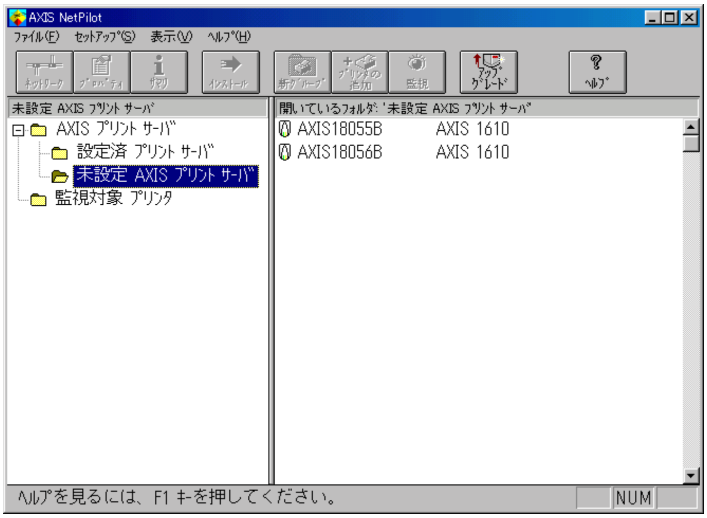
AXIS NetPilot は、NetBIOS/NetBEUI、あるいは IPX プロトコルを利用する通信をサポートするネットワークで AXIS 1610 を設定するために利用するツールです。AXIS NetPilot は、Windows 95、98、Me 環境で動作します。

AXIS NetPilot は、以下のことを可能にします。

- AXIS 1610 のパラメータ値を変更する
- ネットワーク環境の設定を変更する
- ネットワーク上でプリンタを監視する
- 管理を簡単にするためにプリントサーバの論理的なグループを作成する
- AXIS 1610 をアップグレードする

AXIS NetPilot を起動する

［スタート］メニューから、［プログラム］-［Axis Communications（あるいは、インストールディレクトリとして指定した名前）］-［NetPilot］-［AXIS NetPilot］を選択し、AXIS NetPilot 起動します。



AXIS NetPilot のメインウィンドウ

パラメータ値を変更する

AXIS NetPilot は、パラメータ値を変更するための二つの便利なツールを提供します。

- **プロパティページ** : *config* ファイルの編集の経験があまりない場合は、プロパティページを利用します。ユーザフレンドリなインタフェースが AXIS 1610 のパラメータを設定するのを手助けします。
- **パラメータリストエディタ** : *config* ファイルの編集の経験が十分にある場合は、この早くて効率的なツールを利用します。

プロパティページ

プロパティページは、パラメータを見たり変更したりするための簡単な方法を提供します。プロパティページは、お使いの操作環境にとって適切な選択タブの集まりを含んでいます。個々のパラメータは、適切なボックスを選択することにより編集することができます。

下の手順にしたがい、任意のプロパティページを開いて編集します。

1. [設定済プリントサーバ]フォルダからAXIS 1610を選択します。
2. AXIS NetPilot のツールバー上の［プロパティ］ボタンをクリックするか、［セットアップ］メニューから［プロパティ］を選びます。
3. 変更したいパラメータを含むタブを選択します。
4. 値を変更します。
5. ［適用］をクリックし、プリントサーバに変更を保存します（代わりに［OK］を選択した場合は、変更が保存された後、プロパティページが自動的に閉じられます）。

パラメータリストエディタ

パラメータリストエディタは、以下のことを可能にする単純なエディタです。

- AXIS 1610 の *config* ファイルを編集する。
- お使いのハードディスクに、カスタマイズされた *config* ファイルを保存する。
- 複数のプリントサーバを同時に設定する。

下の手順にしたがい、パラメータリストエディタを利用します。

1. ［セットアップ］メニューから［パラメータリストの編集］を選びます。
2. ［ファイルから］あるいは［プリントサーバから］を選択することにより、お使いのハードディスクから、あるいは、プリントサーバから *config* ファイルを読み込むかを指定します。
3. ［読み込み］ボタンをクリックします。エディタに *config* ファイルが開かれます。
4. *config* ファイルを編集します。
5. 適切なボタン、［ファイルへ］あるいは［プリントサーバへ］を選択します。
6. ［保存］をクリックし、変更された *config* ファイルを保存します。

ネットワーク環境を変更する

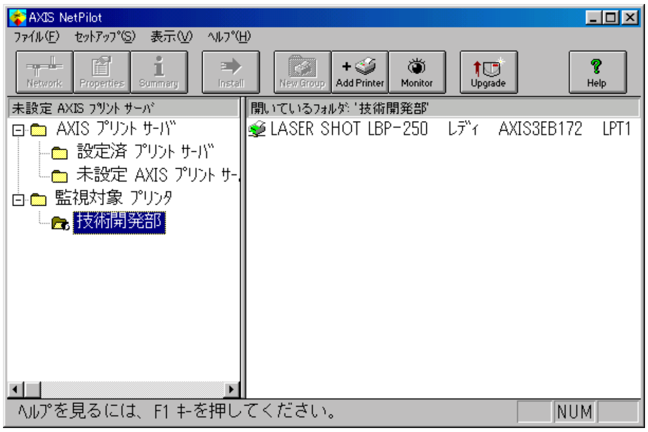
ネットワーク環境ウィンドウから、サポートされる個々のネットワーク環境に対するネットワーク設定を変更することができます。

ネットワーク環境ウィンドウにアクセスするために、下の手順にしたがいます。

1. ［設定済プリントサーバ］フォルダから AXIS 1610 を選択します。
2. ツールバー上の［ネットワーク］ボタンをクリックするか、［セットアップ］メニューから［ネットワーク］を選択します。
3. 変更したい環境に対応するタブを選択します。

プリンタを監視する

プリンタを監視を簡単にするため、プリンタの論理的なグループを作成することができます。個々のプリンタのステータスが、AXIS NetPilot のウィンドウに表示されます。



AXIS NetPilot の監視ウィンドウ

プリンタグループを作成する

下の手順にしたがい、プリンタグループを作成します。

1. ［監視対象プリンタ］フォルダを選択します。
2. ツールバー上の［**新グループ**］ボタンをクリックするか、［**ファイル**］メニューから［**新しいプリンタグループ**］を選択します。
3. テキストフィールドにプリンタグループ名を入力し、［**OK**］をクリックします。

プリンタグループにプリンタを追加する

下の手順にしたがい、プリンタグループにプリンタを追加します。

1. ［監視対象プリンタ］フォルダにあるプリンタグループフォルダを選択します。
2. ツールバー上の［**追加**］ボタンをクリックするか、［**ファイル**］メニューから［**プリンタの追加**］を選択します。
3. プリンタの追加ウィンドウが現れます。お望みのプリンタが接続されているプリントサーバをダブルクリックし、プリンタポートを接続します。［**OK**］をクリックします。

プリンタを調べる

下の手順にしたがい、プリンタを監視します。

1. ［監視対象プリンタ］フォルダにあるプリンタグループフォルダを選択します。プリンタのステータスが、AXIS NetPilot の右側の領域に現れます。
2. 新しいウィンドウを開いてステータスを見られるようにしたい場合は、AXIS NetPilot のツールバー上の［**監視**］ボタンをクリックします。

お互い論理的に関係のあるプリントサーバをグループ化する

AXIS NetPilot では、管理を簡単にするためにプリントサーバの論理的なグループを作成することができます。インストールされたプリントサーバは、［設定済プリントサーバ］フォルダに表示され、これらのプリントサーバに対するショートカットをプリントサーバグループに追加することができます。ショートカット上で行われた管理操作は、プリントサーバの機能に影響します。

プリントサーバグループを作成する

下の手順にしたがい、プリントサーバグループを作成します。

1. ［AXIS プリントサーバ］フォルダを選択します。
2. ツールバー上の［**新グループ**］ボタンをクリックするか、［**ファイル**］メニューから［**新しいプリントサーバグループ**］を選択します。
3. テキストフィールドにプリントサーバグループ名を入力し、［**OK**］をクリックします。

複数のグループにプリントサーバを入れることはできません。

プリントサーバグループにプリントサーバを追加する

下の手順にしたがい、プリントサーバグループにプリントサーバを追加します。

1. ［AXIS プリントサーバ］フォルダにあるプリントサーバグループフォルダを選択します。
2. ツールバー上の［**追加**］ボタンをクリックするか、［**ファイル**］メニューから［**プリントサーバの追加**］を選択します。
3. ネットワークプリントサーバの追加ウィンドウが現れます。プリントサーバを選択し、［**OK**］をクリックします。

プリントサーバを調べる

下の手順にしたがい、プリントサーバを監視します。

1. ［AXIS プリントサーバ］フォルダにあるプリントサーバグループフォルダを選択します。
2. プリントサーバを選択します。

プリンタ情報

下の手順にしたがい、監視ウィンドウに現れているプリンタから詳しいプリンタ情報を取得します（情報の内容は接続されたプリンタによります）。

1. ［監視対象プリンタ］フォルダにある、望みのプリンタフォルダを選択します。
2. お望みのプリンタアイコンをクリックし、［**ファイル**］メニューから［**プリンタ情報**］を選びます。

AXIS NetPilot のプリンタ情報ウィンドウ

また、概要ウィンドウでも詳しいプリンタ情報を見ることができます（情報の内容は接続されたプリンタによります)。

AXIS NetPilot の概要ウィンドウ

プリントサーバをアップグレードする

AXIS 1610 の製品ソフトウェア（ファームウェア）をアップグレードするために AXIS NetPilot のアップグレードウィザードを利用することができます。詳しくは、71 ページ「AXIS NetPilot を 利用してアップ グレードする」を参照してください。

追加情報

AXIS NetPilot についての詳細、そのオンラインヘルプを参照してください。

FTP を利用する

お使いの AXIS 1610 に IP アドレスを設定すれば、FTP (File Transport Protocol) を利用して AXIS 1610 のパラメータ設定を変更することができます。

config ファイルを編集する

下の手順にしたがい、FTP を利用して *config* ファイルを編集します。

1. DOS 窓（MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト）で、以下を入力することにより AXIS 1610 にログインします。

   `ftp` < ホスト名 >、あるいは、`ftp <IP` アドレス >

2. ユーザ ID とパスワードを入力します（デフォルトでは、`root` と `pass` です)。
3. 以下を入力することによりお使いのホストに *config* ファイルを転送します。

   ```
   get config
   ```

4. お好きなテキストエディタを利用して *config* ファイルを編集します。
5. 以下を入力することにより AXIS 1610 に *config* ファイルを保存します。

   ```
   put config CONFIG
   ```

注意 :

- ❑ 送り先のファイルは大文字（CONFIG）で指定することが重要です。さもなければ、編集は一時的なものとなり、一度 AXIS 1610 の電源を落とすと消えてしまいます。

次の例は、DOS 窓（MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト）から FTP を利用してお使いのホストに *config* ファイルを転送し、AXIS 1610 に編集後のファイルを保存する方法を示しています。

例 :

```
> ftp npserver
connected to npserver.
220 AXIS 1610 FTP Print Server v5.80 Nov 1 2001
ready.
Name (npserver:thomas): root
331 User name ok, need password
Password: pass          (見えません)
230 User logged in
ftp> get config
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for config
(192,36,253,4,13,223), (mode ascii).
226 Transfer complete.
8588 bytes received in 0.24 seconds (35.63 kbytes/s)
(この間に config ファイルを編集)
ftp> put config CONFIG
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for CONFIG
(192,36,253,4,13,223), (mode ascii).
226 Transfer complete.
8588 bytes received in 0.45 seconds (19.04 kbytes/s)
ftp> bye
221 Goodbye.
>
```

アカウントファイルを見る

アカウントファイルは、最近の10個のプリントジョブに関するデータを含んでいます。内部ジョブ番号、ジョブを発行したユーザ、使用されたプロトコルとプリンタ、現在のステータス（完了（C)、オフライン（O)、印刷中（P))、印刷されたバイト数、経過時間とオフライン時間を示します。

下の手順にしたがい、FTP を利用してアカウントファイルを見ます。

1. DOS 窓（MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト）で以下を入力することにより AXIS 1610 にログインします。

   `ftp` < ホスト名 > 、あるいは、`ftp <IP` アドレス >

2. ユーザ ID とパスワードを入力します。(デフォルトでは、`root` と `pass` です)。

3. 以下を入力することによりお使いのホストにアカウントファイルを転送します。

   `get account`

4. お好きなテキストエディタを利用してアカウントファイルを見ます。

ステータスファイルを見る

ステータスファイルは、プリンタの現在のステータスを示します。

下の手順にしたがい、FTP を利用してステータスファイルを見ます。

1. DOS 窓（MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト）で以下を入力することにより AXIS 1610 にログインします。

   `ftp` < ホスト名 > 、あるいは、`ftp <IP` アドレス >

2. ユーザ ID とパスワードを入力します。(デフォルトでは、`root` と `pass` です)。

3. 以下を入力することによりお使いのホストにステータスファイルを転送します。

   `get status`

4. お好きなテキストエディタを利用してステータスファイルを見ます。

FTP のヘルプ

上の FTP の手順 2 の後で `help` と入力することにより、利用可能なコマンドのリストが表示されます。

SNMP を利用する

AXIS 1610 のリモート監視・設定のために、SNMP（Simple Network Management Protocol）を利用することができます。プリントサーバにとって主な機能がすべてサポートされます。

一般的な情報

SNMP とは、プロトコル、データベース構造の仕様、データオブジェクトの集合を含むネットワーク管理のための標準の集合を指します。AXIS 1610 の SNMP の実装は、TCP/IP 環境で動作します。

管理は、お使いのネットワーク上のホストで動作する SNMP マネージャで行われます。SNMP マネージャは、一つ、あるいは、複数のオブジェクトへの参照であるメッセージを利用してネットワーク機器と通信をします。

メッセージは、機器に対する問い合わせや指示であったり、機器の特定の事象を引き金とする警報であったりします。オブジェクトは、MIB（Management Information Base）と呼ばれるデータベースに含まれます。MIB-II が標準的なデータベースです。

AXIS 1610 は、以下の MIB をサポートします。

- MIB-II の関連する部分
- AXIS MIB（プライベートエンタープライズ MIB）
- ホストリソース MIB の関連する部分
- プリンタ MIB の関連する部分
- Canon MIB の関連する部分

AXIS MIB

AXIS 1610 の SNMP サポートを十分に利用するために、AXIS MIB のようなプライベートエンタープライズ MIB をインストールできる SNMP マネージャを利用する必要があります。

AXIS MIB は、以下のように分類できる多くのオブジェクトを含んでいます。

- **メニューオブジェクト** - SNMP マネージャから AXIS 1610 の設定を見たり変更したりするために利用されます。73 ページ「パラメータリスト」を参照してください。
- **プリンタステータスオブジェクトと製品の管理オブジェクト** - AXIS 1610 のプリントジョブを監視したり、パラメータを恒久的に保存するために利用されます。
- **トラップオブジェクト** - 色々なエラー状態での警報のために利用されます。

技術的な詳細は、任意のテキストエディタを利用して MIB ファイル（*axis.mib*）をご覧ください。

工場出荷時のデフォルト設定に戻す

テストボタンは、AXIS 1610 の前から見て右側に位置しており、AXIS 1610 のパラメータを工場出荷時のデフォルト設定にリセットするために利用されます。

工場出荷時のデフォルト設定

下の手順にしたがい、AXIS 1610 を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

1. 外部電源アダプタのジャックを取り外し、AXIS 1610 の電源を切ります。
2. テストボタンを押しながら、外部電源アダプタのジャックを入れます。ネットワークインディケータが一秒間隔で点滅を始めるまで、テストボタンを押し続けます。これには、5 秒程かかります。
3. テストボタンを放し、ネットワークインディケータが少なくとも 5 回点滅するまで待ちます。
4. ネットワークインディケータが点灯し続けるまで、再びテストボタンを押し続けます。
5. 電源を入れ直し、AXIS 1610 を再起動します。

これで、AXIS 1610 は工場出荷時のデフォルト設定にリセットされました。

注意 :

❑ IP_ADDR パラメータ（IP アドレス）と DHCP_ENB パラメータ（DHCP を使うか否か）以外のすべてのパラメータはリセットされます。これらのパラメータを変更したい場合は、49 ページ「設定の概要」で示されているいずれかの方法を利用してください。

第 5 章　ソフトウェアをアップグレードする

以下の方法を利用して AXIS 1610 のフラッシュメモリをアップグレードすることができます。

- FTP（TCP/IP）
- AXIS NetPilot のアップグレードウィザード（IPX）

FTP を利用してアップグレードする

FTP を利用してネットワーク経由でアップグレードを行うには、プリントサーバの新しい製品ソフトウェアのファイルが必要になります。このファイルの名前は、製品 _ バージョン .bin という形式をしています。たとえば、ソフトウェアバージョン 5.80 の場合は、`1610_580.bin` となります。新しいファイルは、Axis のホームページ（http://www.axiscom.co.jp/）から入手することができます。

注意：
- ❑ このアップグレード方法を利用できるようにするには、AXIS 1610 に IP アドレスを割り当てておく必要があります。

下の手順にしたがい、AXIS 1610 をアップグレードします。

1. DOS 窓（MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト）を開きます。
2. cd コマンドを利用して、新しいファームウェアが保存されているディレクトリに移動します（次ページの例では、C:¥WINDOWS¥Axis にファームウェアに保存しています）。
3. 以下のコマンドを利用して AXIS 1610 にログインします。

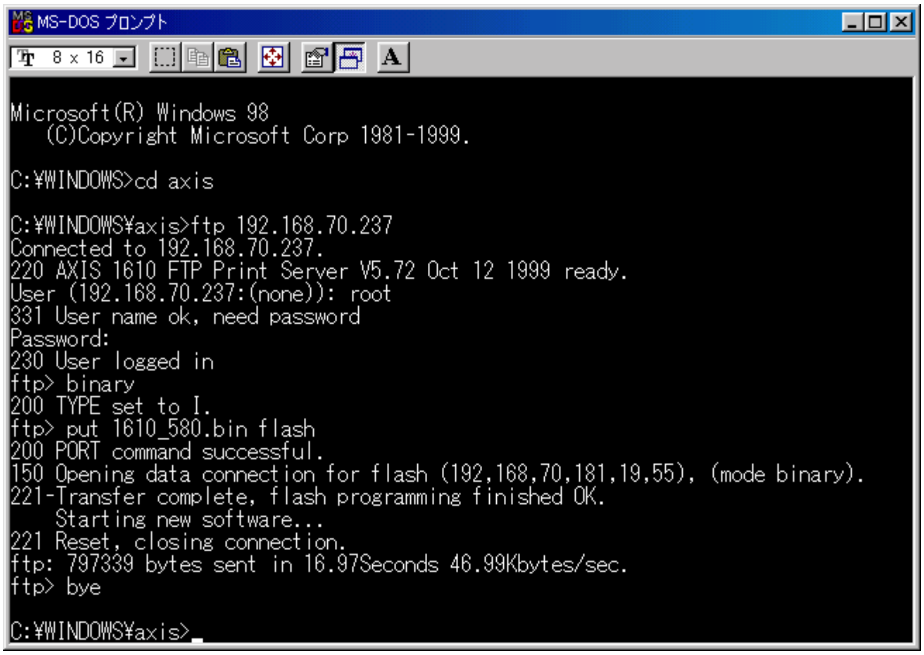
   `ftp <ホスト名>`、あるいは、`ftp <IP アドレス>`
4. ユーザ ID とパスワードを入力します。

   デフォルトのユーザ ID：**root**
   デフォルトのパスワード：**pass**
5. 以下のコマンドを利用してバイナリ転送モードに移行します。
   binary
6. 以下のコマンドを入力します。

   `put <ソフトウェア名> flash`

   <ソフトウェア名>は、プリントサーバの新しい製品ソフトウェアの名前、たとえば `1610_580.bin` です。

7. フラッシュローディングの作業が終わるのを待ちます。これには、通常、1 〜 4 分かかります。プリントサーバは、新しい製品ソフトウェアを利用して自動的に再起動します。
8. お使いの FTP のバージョンにより、`quit`、`bye`、`exit` コマンドを利用してログアウトします。



アップグレードの参考画面

注意：

- ❑ アップグレード処理に失敗した場合は、単純に上に示した操作を繰り返します。
- ❑ アップグレードが失敗した後、AXIS 1610 との接続切れた場合は、接続を回復させるために単純に AXIS 1610 を再起動します。
- ❑ ネットワークインディケータが 0.5 秒間隔で点滅する場合は、AXIS 1610 はプリントジョブを処理することができません。この状態から抜けるには、上に示した操作を繰り返す必要があります。

AXIS NetPilot を利用してアップグレードする

これは、IPX プロトコルをサポートするネットワークでフラッシュメモリをアップグレードするために推奨される方法です。必要な手続きを通して案内をしてくれるアップグレードウィザードが利用できます。

注意 :

- ❑ AXIS NetPilot を利用してアップグレードを行うには、NetWare サーバが必要です。

下の手順にしたがい、お使いのプリントサーバをアップグレードします。

1. 更新された製品ソフトウェアを、Axis のホームページからダウンロードしてください。
2. そのファイルを AXIS NetPilot の［**Upgrade**］フォルダに置きます。このフォルダは、AXIS NetPilot のプログラム本体と同じフォルダにあり、AXIS NetPilot をインストールした際にお使いのクライアント上に作成されます。
3. AXIS NetPilot のツールバー上、［**アップグレード**］アイコンをクリックすることにより、アップグレードウィザードを起動します。
4. アップグレードウィザード中で示される手順にしたがうことにより、アップグレードを続けます。

さらに詳しい情報が必要な場合は、AXIS NetPilot のオンラインヘルプを参照してください。

付録 A　パラメータリスト

左側の列は、*config* ファイル中でのパラメータの名前とそのデフォルト値を示し、右側の列は、内部 Web ページでのパラメータの名前を示します。

注意： ❑ パスワードパラメータ ROOT_PWD は、*root* を利用して AXIS 1610 にログインした時のみ表示されます。

--- GENERAL MENU

NETWORK_SPEED.	: AUTO_SENSE	AUTO_SENSE, 10_HALF_DX, 100_HALF_DX（ネットワークのスピード：自動検知、10Mbps 半二重、100Mbps 半二重）
PS_NAME.	: AXIS100086	Print Server Name（プリントサーバ名：AXIS にシリアル番号の下 6 桁を続けたもの）
ROOT_PWD.	: pass	Root Password（root のパスワード）
SYS_LOC.	:	System Location（システムの場所）
SYS_CONT.	:	System Contact（システムのコンタクト先）

--- TCP/IP MENU

TCP_ENB.	: YES	TCP/IP printing enabled（TCP/IP 印刷の有効・無効）
INT_ADDR.	: 0 0 0 0	Internet Address（IP アドレス）
DEF_ROUT.	: 0 0 0 0	Default Router Address（デフォルトゲートウェイ） *（ルータがない時は 0.0.0.0）*
NET_MASK.	: 0 0 0 0	Net Mask（サブネットマスク） *（たとえば、クラス C では 255.255.255.0、自動検知の時は 0.0.0.0）*
DHCP_ENB.	: YES	DHCP Enabled（DHCP を使うか否か）
BOOTP_ENB.	: YES	BOOTP Enabled（BOOTP を使うか否か）
RARP_ENB.	: YES	RARP Enabled（RARP を使うか否か）
WINS_ENB.	: YES	WINS Enabled（WINS を使うか否か）
WINS_ADDR1.	: 0 0 0 0	Primary WINS server Address（プライマリ WINS サーバアドレス）
NBT_SCOPE ID.	:	NBT Scope ID（WINS の名前登録とともに利用される NetBIOS スコープの定義）

--- SNMP MENU

TRAPADDR.	: 0 0 0 0	Trap Address（SNMP トラップアドレス）
TRAP_COM.	: public	Trap Community（SNMP トラップコミュニティ名）
SYS_NAME.	:	System Name（システムの名前）

--- NetBIOS/NetBEUI Menu

LSLM_ENB.	: YES	NetBIOS/NetBEUI printing enabled（NetBIOS/NetBEUI 印刷の有効・無効）

付録 B 技術仕様

サポートするシステム

Microsoft Windows： Windows 95、98、NT 4.0、2000、Me、XP。

WWW： Netscape Navigator 3.0 以降、Microsoft インターネットエクスプローラ 3.0 以降。

サポートする印刷プロトコル

Windows： TCP/IP。
NetBIOS/NetBEUI（Windows XP を除く）。

サポートする管理プロトコル

Windows： TCP/IP、NetBIOS/NetBEUI、IPX。

その他 TCP/IP 関連プロトコル： FTP、BOOTP、ARP、RARP、DHCP、ICMP、TCP、IP、UDP、HTTP、SNMP。

ネットワーク管理

SNMP-MIB II 準拠（UDP/IP 上）、プライベートエンタープライズ MIB、ホストリソース MIB、プリンタ MIB、Canon MIB を含む。

ハードウェア

32 ビット 100 MHz RISC CPU 内蔵 ASIC（AXIS ETRAX 100）、1M バイトフラッシュメモリ、2M バイト DRAM。

論理ネットワーク接続

サポートするプロトコルの任意の組み合わせで同時に動作可能。IEEE802.2、IEEE802.3、SNAP、Ethernet II フレームタイプを同時に利用可能。

物理ネットワーク接続

10BASE-T イーサネット、100BASE-TX ファーストイーサネットのための RJ-45 コネクタ。

セキュリティ 管理者パスワードにより設定変更を保護。

パラレルプリンタ IEEE 1284 準拠高速パラレルポート一つ、36 ピンセントロニクスコネクタ。持続スループットは 10BASE-T で 600K バイト / 秒、100BASE-TX で 800K バイト / 秒まで。ECP をサポート。

フロントパネル LED インディケータ二つ（電源、ネットワーク）。
テストボタン。

消費電力

外部電源 12 VDC で最大 200mA
（PS-B : Input 100VAC 50/60Hz、Output 12VAC 500mA 6.0VA）。

寸法 高さ×横幅×奥行き

2.4 × 6.1 × 12.1 cm。

重量 0.1 kg。

操作環境 温度：5 ～ 40° C。
湿度：10 ～ 95%（結露不可）

認可

電波に関する適合性： EN 55022/1994、EN50082-1/1992。FCC Class A。 CE

安全性： EN 60950。

付録 C 用語集

BOOTP BOOTP Protocol。ホストの IP アドレス等のスタートアップ情報を設定するために利用する TCP/IP プロトコルです。UNIX でのみ利用できます。BOOTP を利用するには、お使いのシステム上、BOOTP デーモンが必要になります。BOOTP デーモンに対して要求が行われると、ブートテーブル中、目的のホストの物理アドレスに一致するエントリが検索されます。エントリが見つかると、そのホストの IP アドレスが設定されます。

config **ファイル** プリントサーバのメモリ内にあり、プリントサーバの機能を決定するすべてのパラメータを保持しているファイルです。*config* ファイルを編集する（パラメータ設定を変更する）ことにより、お使いのネットワークでの印刷の必要性に合わせてプリントサーバを設定することができます。

DHCP Dynamic Host Configuration Protocol。DHCP は、Windows NT と UNIX システムで利用でき、中央のプール領域から一時的な IP アドレスを自動的に割り当てることができます。選択された DHCP サーバは、要求を行ったホストに未使用の IP アドレスを自動的に割り当て、設定します。また、その IP アドレスがどのくらいの期間有効であるかということを定義する確認データも提供します。

DHCP の恩恵を十分に受けるために、AXIS 1610 は、Windows NT ネットワーク利用される WINS（ホスト名を解決するための仕組み）もサポートします。

FTP File Transfer Protocol。ネットワーク経由でファイルを転送するために利用する TCP/IP プロトコルです。

HTML Hypertext Markup Language。WWW（World Wide Web）ページやその他のハイパーテキストドキュメントを作成するために利用する標準的なハイパーテキスト言語です。

HTTP Hypertext Transfer Protocol。Web ベースの通信のための TCP/IP プロトコルです。

IP Internet Protocol。IP アドレスを基に、外に出て行くメッセージをルーティングし、中に入って来るメッセージを認識することによりパケット転送を統制するセッション層の TCP/IP プロトコルです。

LED Light Emitting Diode。発光ダイオードのことです。

MIB Management Information Base。ネットワーク設定を監視したり、変更するために SNMP 等が利用するネットワーク構成情報のデータベースです。

RARP Reverse Address Resolution Protocol。UNIX ネットワークで IP アドレスを設定するために利用する TCP/IP プロトコルです。RARP を利用するには、お使いのシステム上、RARP デーモンが必要になります。また、RARP は、同一ネットワークセグメント内でのみ動作します。RARP デーモンに対して要求が行われると、物理アドレステーブル中、目的のホストの物理アドレスに一致するエントリが検索されます。エントリが見つかると、そのホストの IP アドレスが設定されます。

RISC Reduced Instruction Set Computing。限られた数しかアセンブリ言語命令を持たないプロセッサです。

SNMP Simple Network Management Protocol。ネットワーク上のホストや機器を管理したり、監視するための TCP/IP プロトコルです。

TCP Transmission Control Protocol。TCP/IP プロトコルスタック中で利用されるコネクション指向のトランスポートレベルプロトコルです。

TFTP Trivial File Transport Protocol。FTP プロトコルの簡易版です。

URL Uniform Resource Locator。インターネット上で公に利用可能な情報の場所を指定する方法です。

WINS Windows Internet Name Service。動的に割り当てられた IP アドレスに NetBIOS 名をマップする NetBIOS ネームサーバです。

ウィザード 作業を自動化するためにダイアログを通してユーザを支援する特別な仕組みです。ウィザードは、複雑で経験を必要とする作業を遂行するのを手助けします。経験を持ったユーザに対しても、操作を速やかに行うよう手助けすることができます。

ファームウェア プリントサーバの機能を決定するソフトウェアです。

フラッシュメモリ プリントサーバの製品ソフトウェア（ファームウェア）は、フラッシュメモリ中に格納されます。フラッシュメモリは、シリコンチップで供給され、その他の ROM デバイスと同様、電源が落とされた後もデータの内容を保持します。しかし、フラッシュメモリはユニークで、そのデータを消去し、書き直すことができます。これは、何も部品を交換することなく、新しい製品ソフトウェアがリリースされたら、すぐにそれをインストールすることができるということを意味します。新しい製品ソフトウェアは、単純に、ネットワーク経由でプリントサーバにローディングすることができます。

付録 D　保証について

AXIS 1610 は、お買い上げ頂いてから一年間、センドバックによる無償保証が付いております。ただし、製品に付属の「お客様登録カード」をお送り頂いた方のみのサポートとなります。また、有償で保証期間を一年間だけ延長することができます。詳しくは、お買い上げの販売店にご連絡ください。なお、保証期間終了後の故障に関しては、実費負担となります。

索引

A
AXIS CAPT Port の設定　35, 40
AXIS MIB　66
AXIS NetPilot　47, 55
　パラメータリストエディタ　57
　プリンタ情報　60
AXIS Print Monitor　28

C
config ファイル　49

E
ETRAX 100　14

F
FTP　62

I
IP アドレスの割り当て　20
　ARP　23, 25
　AXIS NetPilot　48
　BOOTP　27
　DHCP　22
　RARP　26

N
NetBIOS/NetBEUI 印刷
　Windows 95、98、Me　41
　Windows NT、2000　43
Netspot　53

T
TCP/IP 印刷
　Windows 95、98、Me　30
　Windows NT、2000、XP　36
TFTP　22, 27

W
WINS　21, 22

あ
アカウントファイル　64
アップグレード　69
アップグレードウィザード　71

い
イーサネットアドレス　20

こ
工場出荷時のデフォルト設定　52, 67

さ
サポートするプリンタ　11

し
シリアル番号　19

せ
設定の変更方法
　AXIS NetPilot　56
　FTP　62
　SNMP　65
　Web ブラウザ　50

て

テストボタン 17, 67
電源インディケータ 17

ね

ネットワークインディケータ 17
ネットワークコネクタ 16

は

パスワード 48, 52
パラメータリスト 73

ふ

物理コネクタの説明 16
プリンタポート 16
プリンタポート名 48
プリントサーバの再起動 52

ほ

ホスト名 21

り

リモートプリンタポート 33

AXIS 1610 for Canon CAPT Printers ユーザーズマニュアル　第 2 版
2003 年 7 月
Copyright © アクシスコミュニケーションズ株式会社、1999-2003

R2.2　PS-032-03